

# 資料編

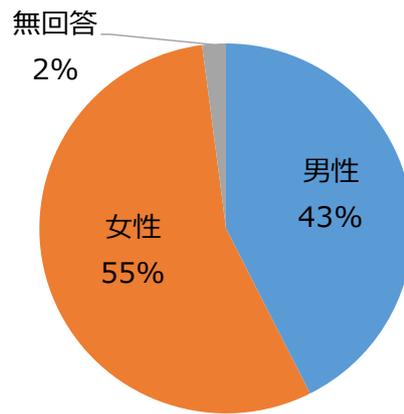
(1) 移動に関する町民の意向調査結果（詳細）

■設問1：あなたご自身についておうかがいします。

【性別・年齢】

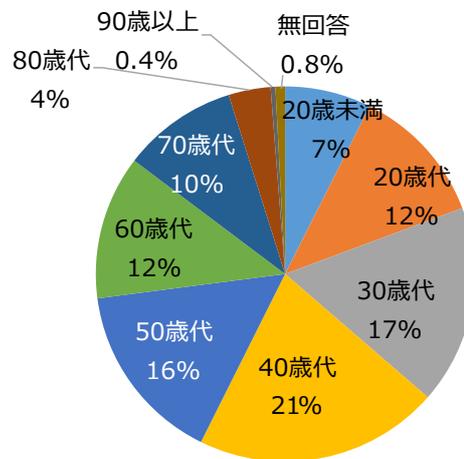
- ・ 女性からの回答が55%と、男性より若干多い。
- ・ あらゆる世代から偏りなく、回答を得られている。

性別



回答者数：975人

年代



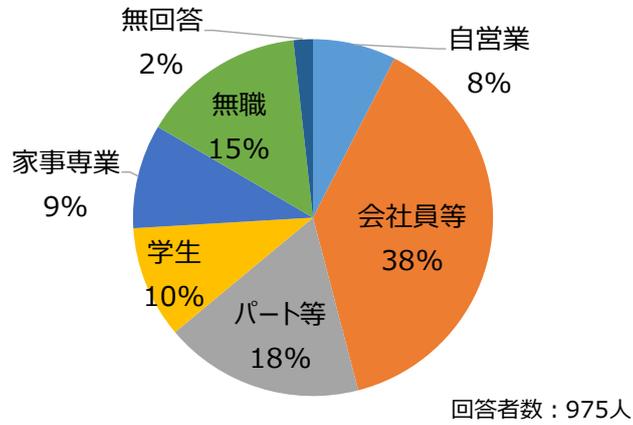
回答者数：975人

図1 回答者属性(1)

【職業・居住地】

- ・ 様々な職業の方から回答を得られている。
- ・ 七本木地区からの回答が最も多かった。

職業



居住地

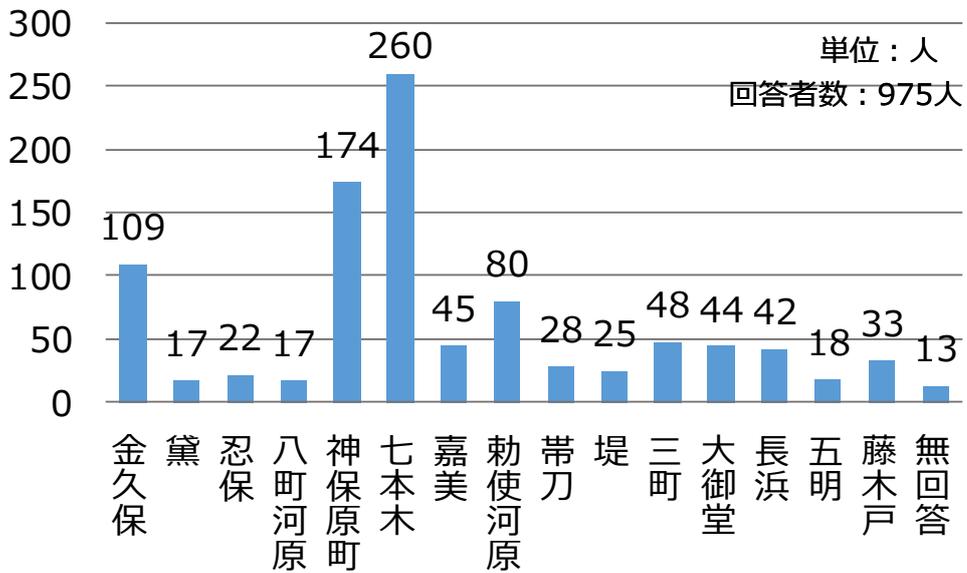


図2 回答者属性(2)

【運転免許証】

- ・ 84%の方が運転免許証を所持、運転している状況であり、自動車を中心とした生活を行っている。

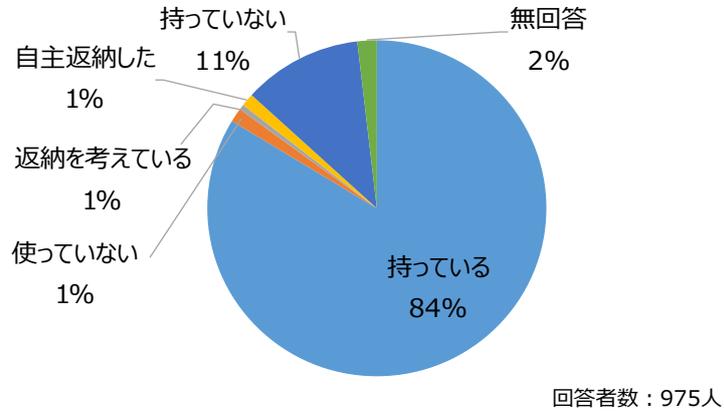


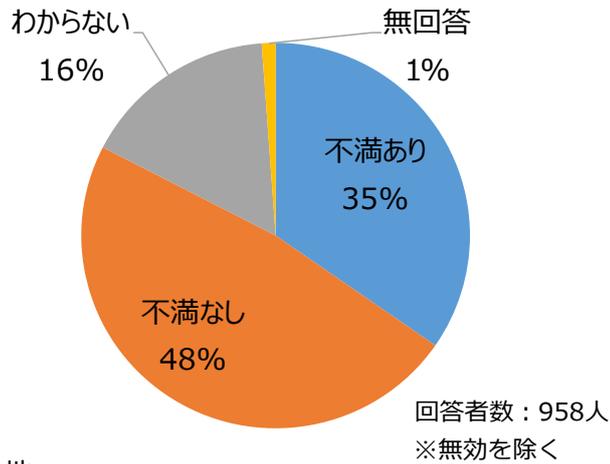
図3 回答者属性(3)

■設問2：町内の公共交通（鉄道・路線バス・こむぎっち号・タクシー）について、不満に思っていることを教えてください。

【鉄道】

- ・ 不満を持たない方が48%であり、不満はあまり持たれていない。
- ・ 地域によらず、傾向はあまり変わらない。

単純集計



鉄道への不満×居住地

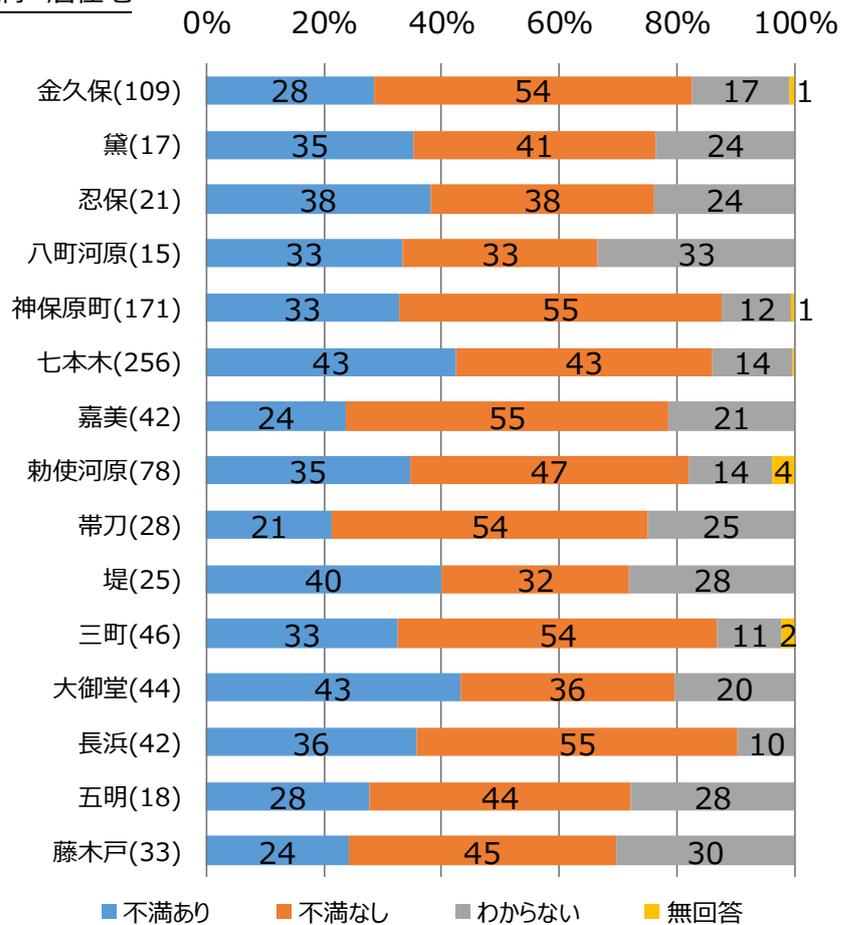


図4 鉄道への不満(1)

- ・ 不満理由のなかでは、運行本数を挙げている方が最も多い。

### 不満理由内訳

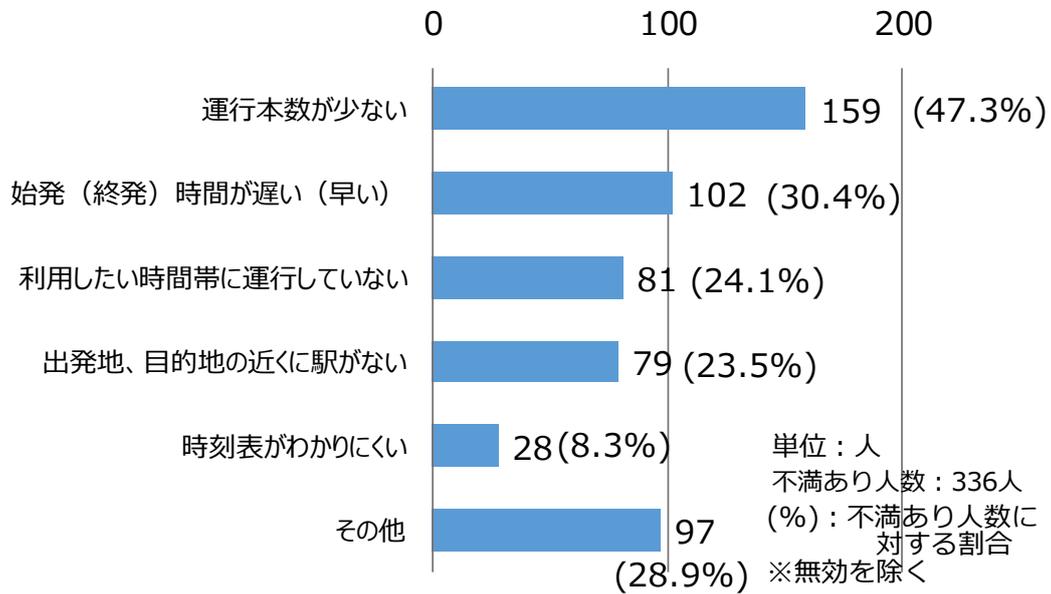


図5 鉄道への不満(2)

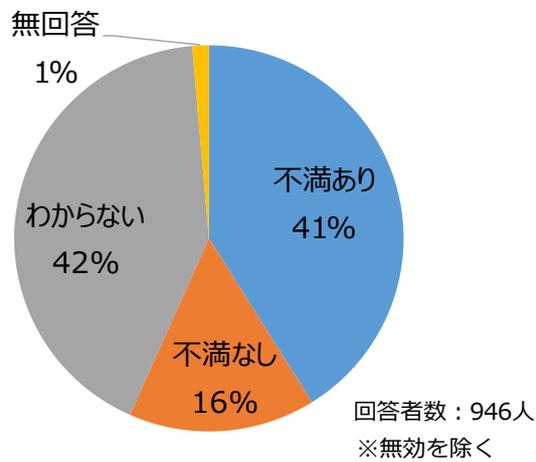
表1 その他の主な意見

No	内容
1	運休や遅れが多い。
2	籠原で切り離しがあるので不便。
3	ホーム内じゃなく、外にもエレベーターがほしい。
4	コインパーキングが少ない。特急がとまらない。
5	みどりの窓口がないため、長距離切符が券売機でしか買えない上、券売機が稼働している時間が短くて大変困る。
6	コンビニが近くにない。
7	駅前の駐車場が少なく、土、日などは駐車できない時がある。
8	階段をなんとかしてほしい。

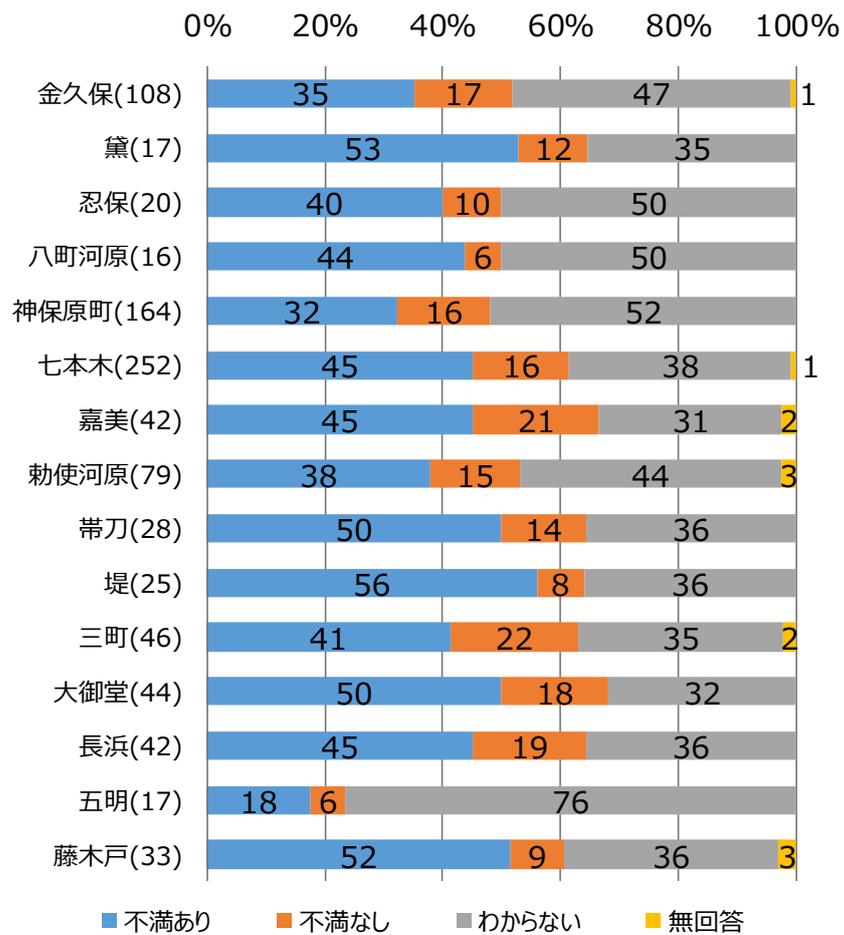
【路線バス】

- ・ 「不満」と回答された方が約4割を占める。
- ・ 地域によらず、傾向はあまり変わらない。

単純集計



路線バスへの不満×居住地



回答者数：933人※地域無回答、無効を除く

図6 路線バスへの不満(1)

- ・ 運行本数のほか、運行経路、停留所の位置等、運行状況の認知度に課題がある。

不満理由内訳

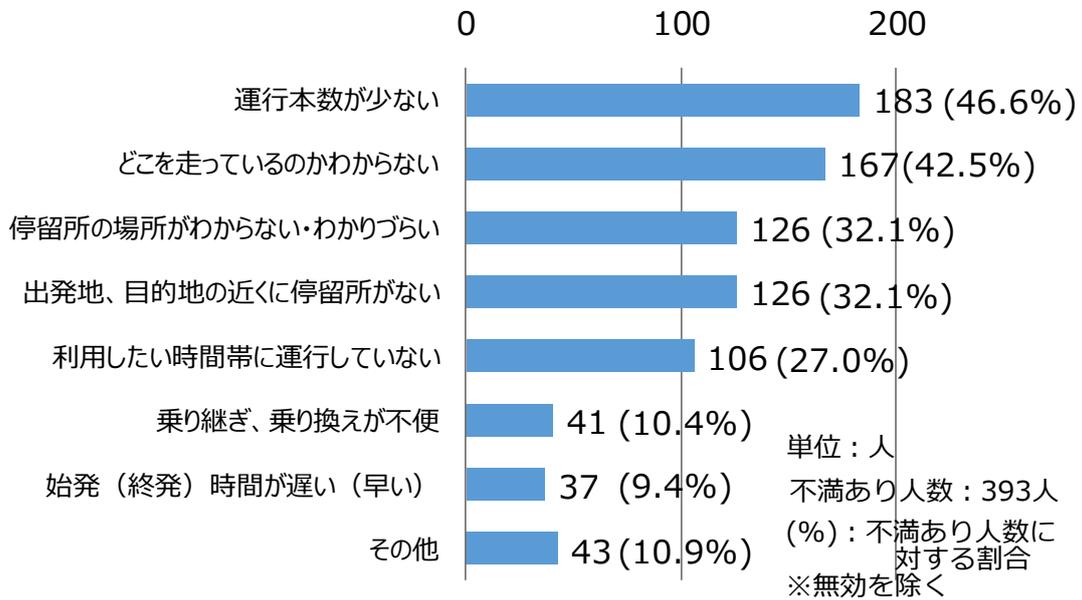


図7 路線バスへの不満(2)

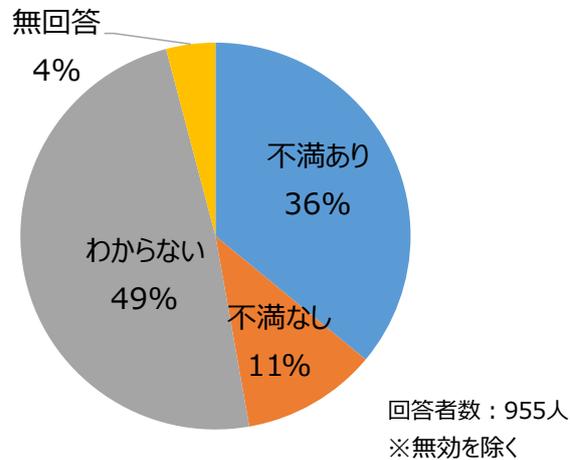
表2 その他の主な意見

No	内容
1	時刻表の時間から大幅にズれる。
2	乗る事がないので不明。
3	バスがあることを知らなかった。
4	停留所の設備が悪い。
5	椅子、屋根がバス停にない。
6	運転が荒い。バスが飛び出してきた。

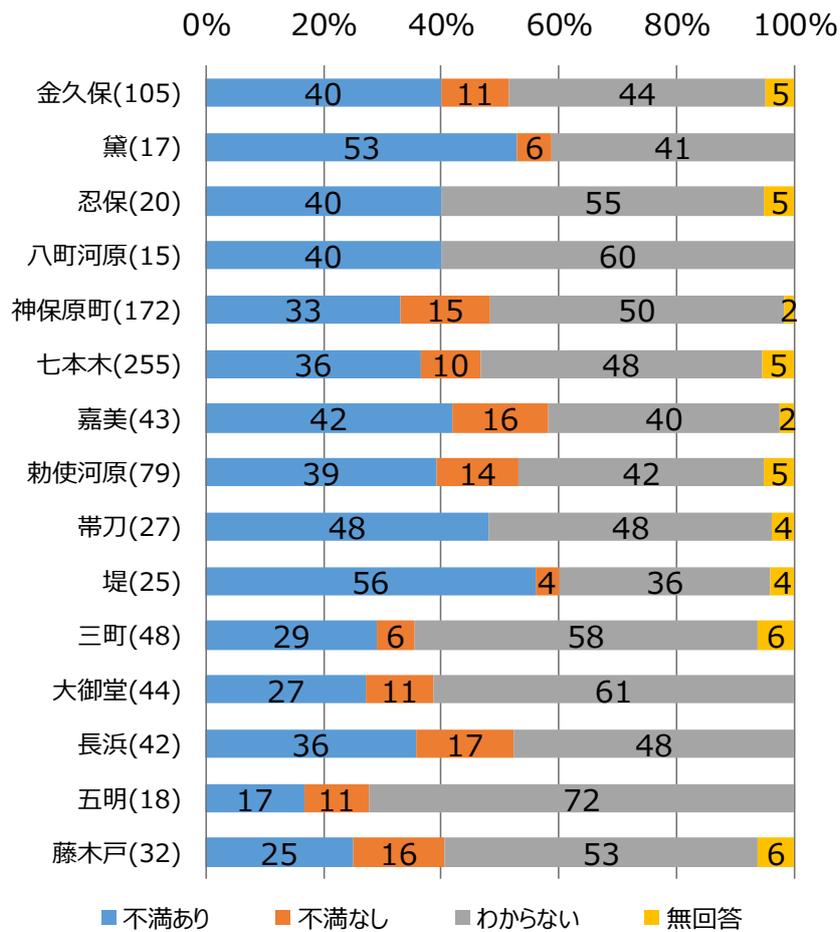
【こむぎっち号（ダイヤ改定前）】

- ・ 「分からない」方が約半数と多い。
- ・ 地域によらず、傾向はあまり変わらない。

単純集計



こむぎっち号（ダイヤ改定前）への不満×居住地



回答者数：942人※地域無回答、無効を除く

図8 こむぎっち号（ダイヤ改定前）への不満(1)

- ・ 運行状況の認知度のほか、運行時間帯、運行本数に課題がある。

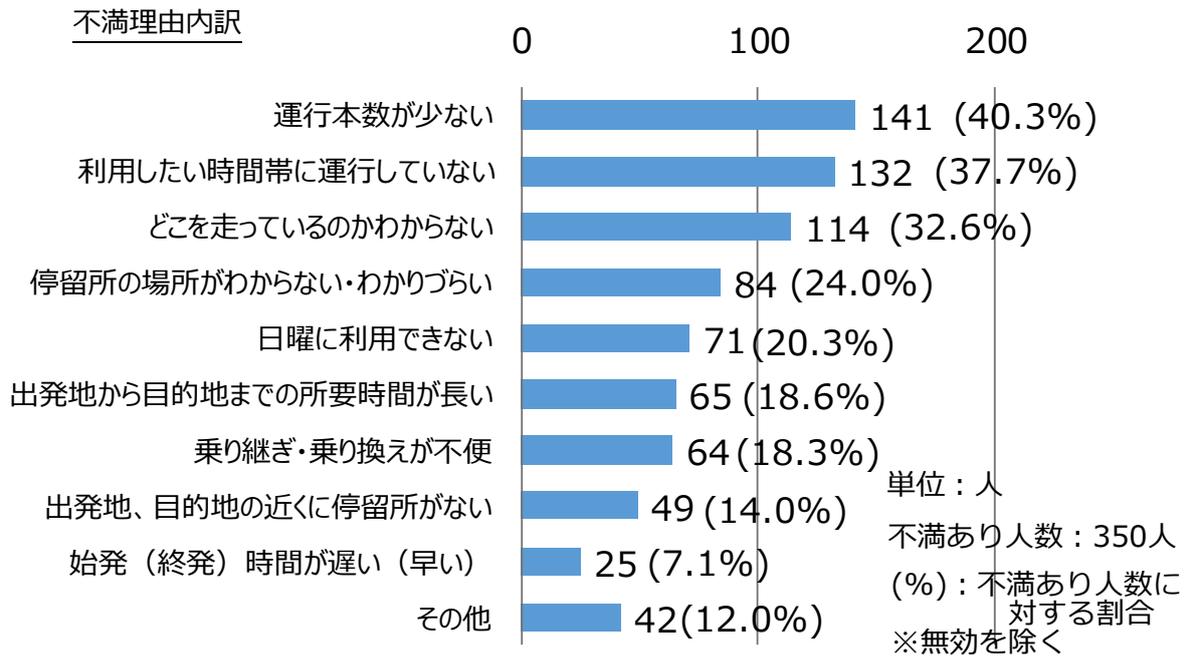


図9 こむぎっち号（ダイヤ改定前）への不満(2)

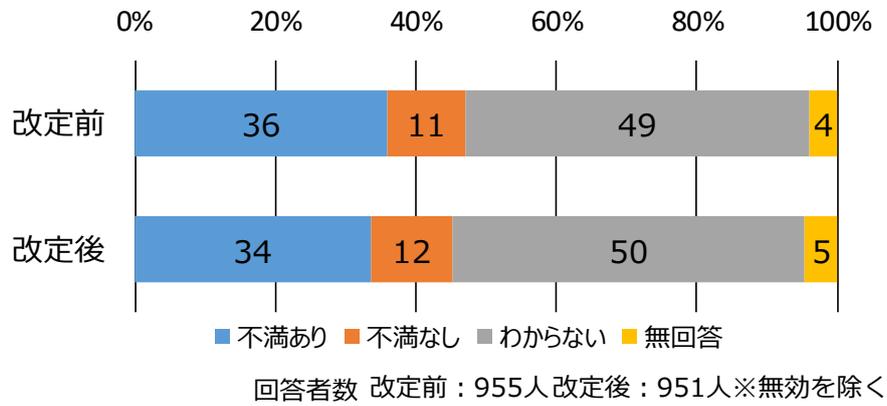
表3 その他の主な意見

No	内容
1	誰でも利用できるのかがよくわからない。
2	時刻表、運行ルートが分かりづらい。
3	どのように利用(乗降)したら良いか不明。定期運行なのか、予約等なのか。
4	自分の好きな時間に好きな所に行けない。
5	タクシーみたいに利用できるものが良い。

【こむぎっち号（ダイヤ改定後）】

- ・ダイヤ改定前と比べて、やや「分からない」が増えている。
- ・地域によらず、傾向はあまり変わらない。

単純集計



こむぎっち号（ダイヤ改定後）への不満×居住地

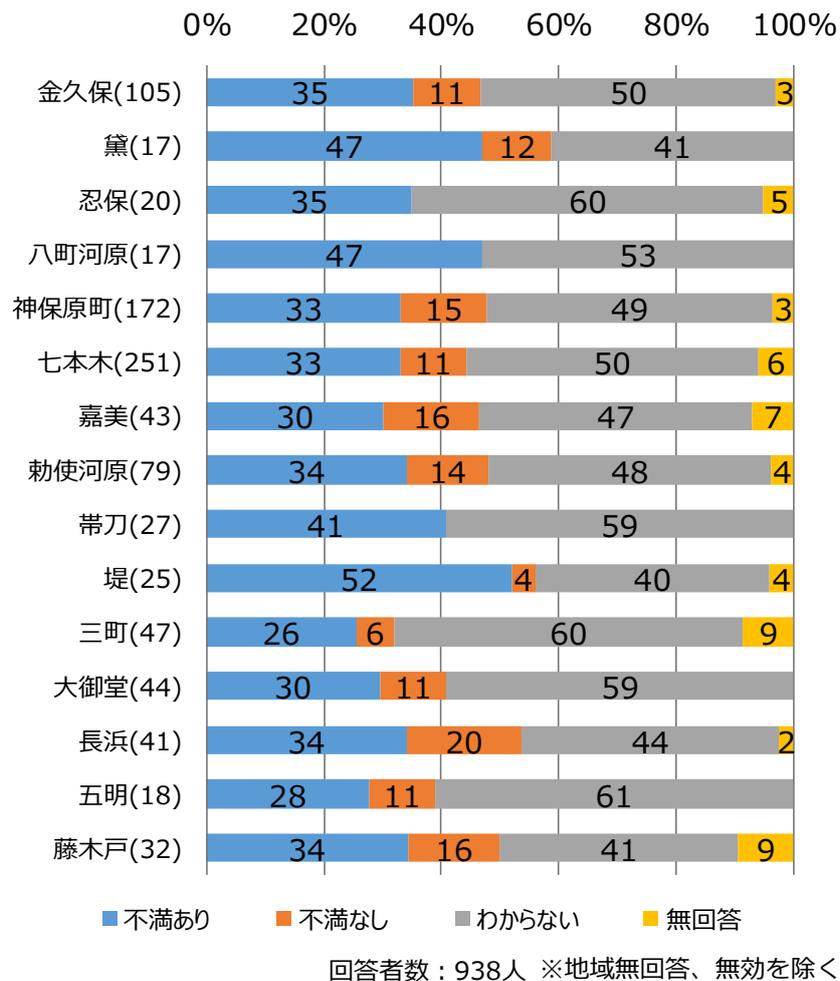


図10 こむぎっち号（ダイヤ改定後）への不満(1)

- ・ダイヤ改定前と比較して、運行時間帯や運行本数に関する不満は減少した。
- ・一方で、北部・南部コースの運行日が隔日となった事への不満が生じている。

不満理由内訳（改訂前後比較）

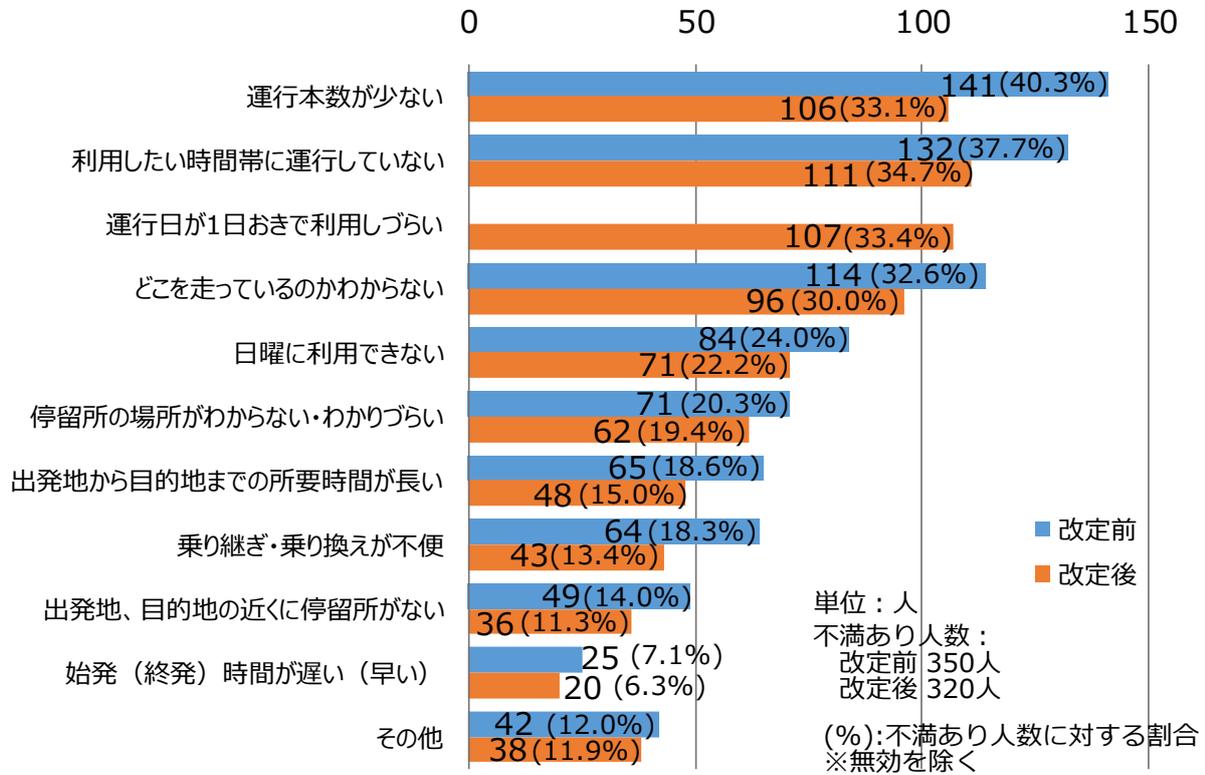


図11 こむぎっち号（ダイヤ改定後）への不満(2)

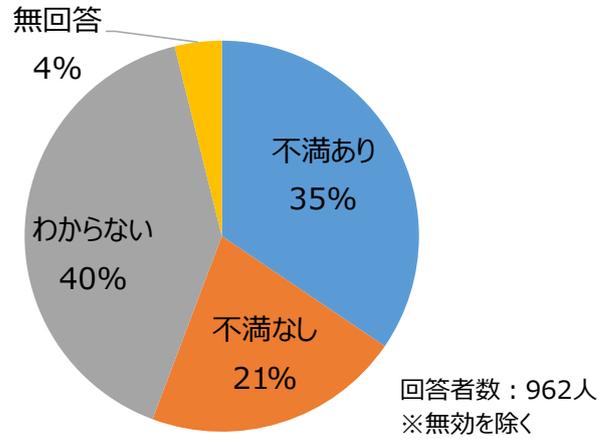
表4 その他の主な意見

No	内容
1	ダイヤ改定されたことを知らない。
2	誰でも利用できるのかがよくわからない。
3	時刻表、運行ルートが分かりづらい。
4	時間があったら乗ってみたい。
5	乗っている人を見たことがない。本庄（はにぽん号）のように呼んで乗るようにしたほうが良いと思う。
6	七本木は本庄と隣接しているので、本庄市とも協力してください。
7	椅子や雨よけがない。病院行きがない。
8	鉄道と時間、タイミングが合わない。
9	利用していないので、わからない。

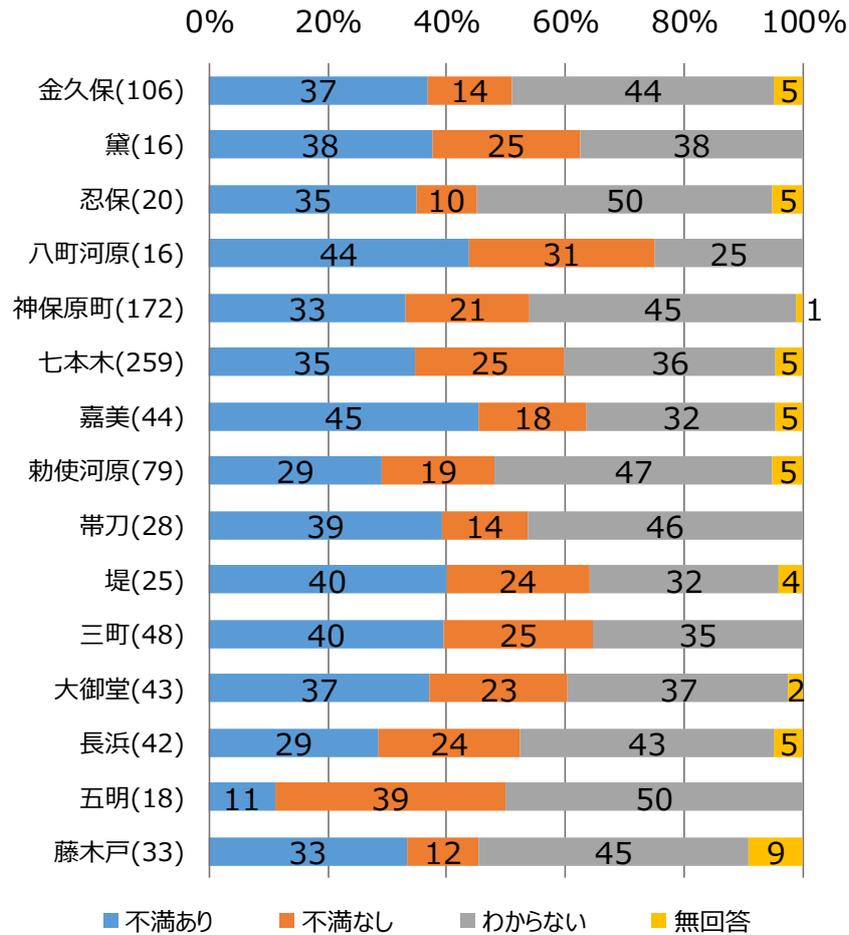
【タクシー】

- ・ 「分からない」方が約4割と最も多い。
- ・ 地域によらず、傾向はあまり変わらない。

単純集計



タクシーへの不満×居住地



回答者数：949人※地域無回答、無効を除く

図12 タクシーへの不満(1)

- ・ 料金が高いことが、最も多い不満理由となっている。

不満理由内訳

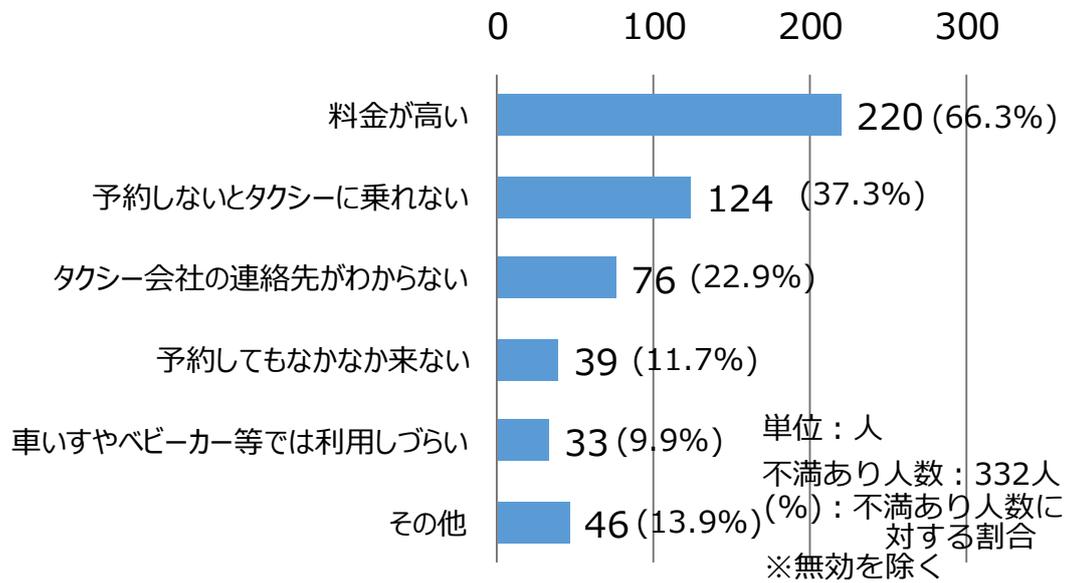


図13 タクシーへの不満(2)

表5 その他の主な意見

No	内容
1	駅にタクシーがない時もある。
2	深夜に駅前にいない。
3	ほとんどいない上に、予約できない。
4	笑顔で対応して下さると嬉しいです。
5	マイカーのため利用なし。

■設問3：町内の公共交通（鉄道・路線バス・こむぎっち号・タクシー）について、あなたはどうお考えですか

①公共交通は、町民の日常生活には不可欠である。

- ・ どの交通機関も、約半数以上の方が「不可欠」と考えている。
- ・ 特に鉄道は、8割以上の方が不可欠と考えている。

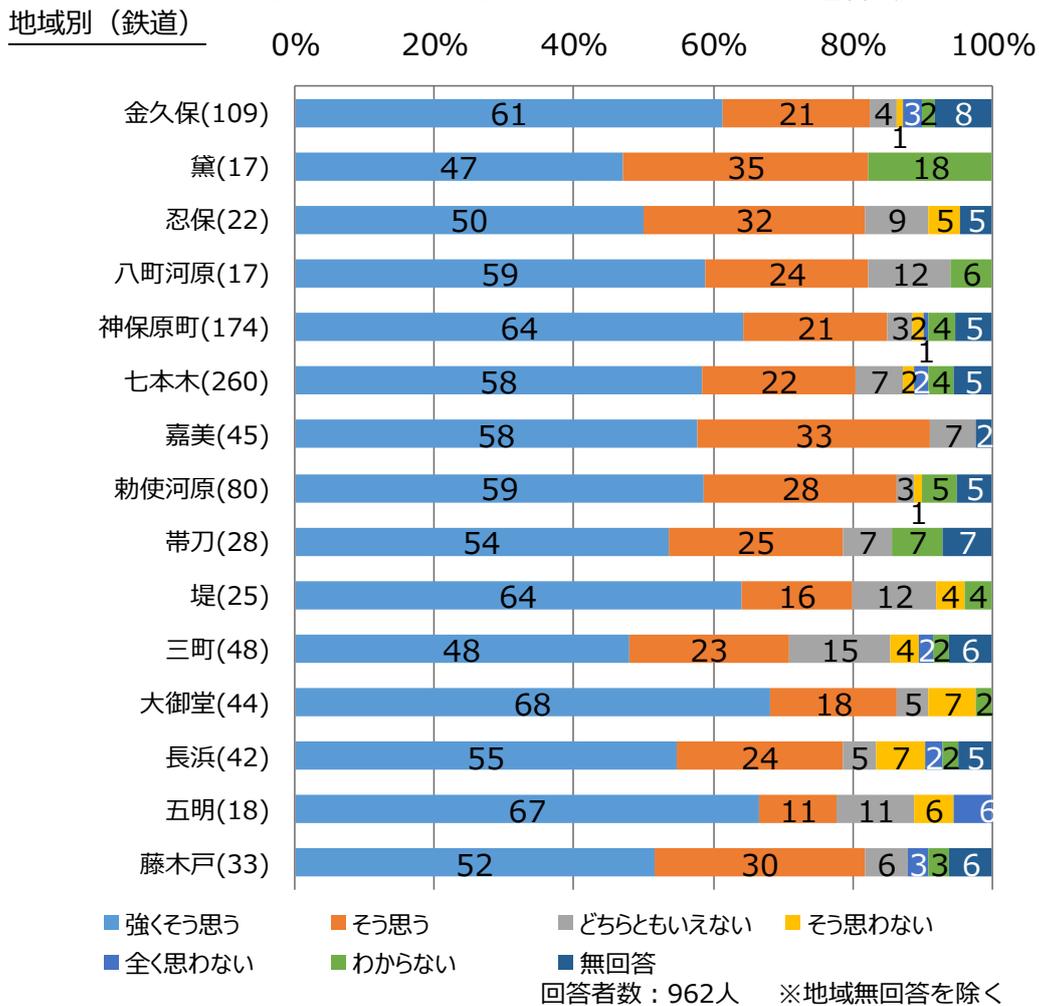
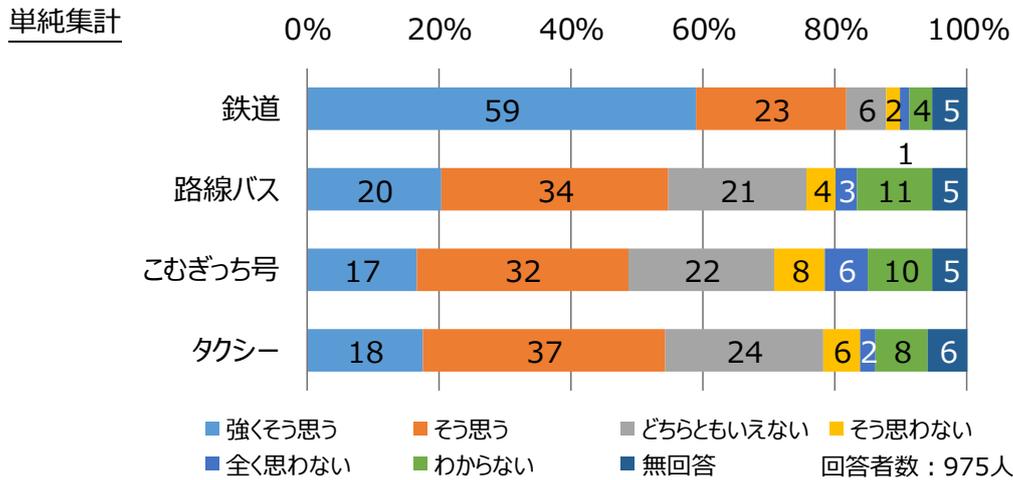


図14 日常生活に不可欠かどうか (1)

・路線バスは、多くの地域で4割以上の方が、不可欠と考えている。

地域別（路線バス）

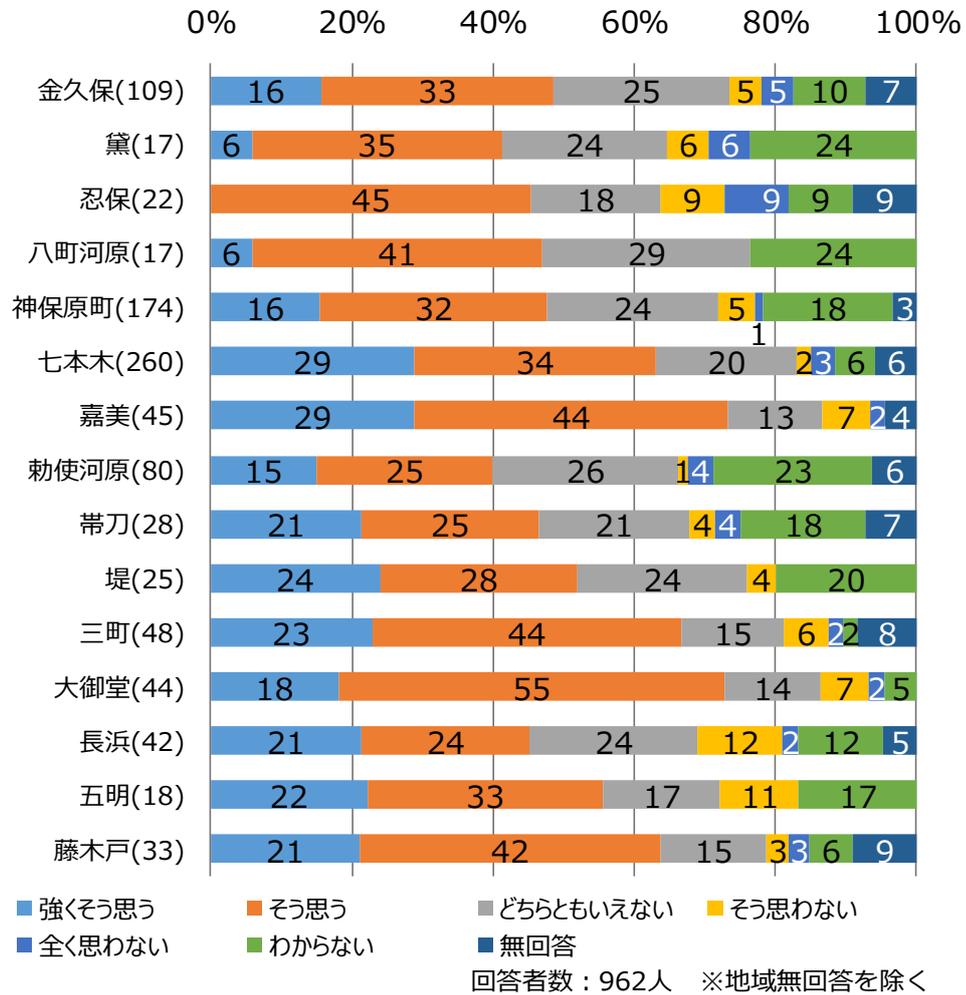


図15 日常生活に不可欠かどうか（2）

・ こむぎっちは、多くの地域で4割前後の方が、不可欠と考えている。

地域別（こむぎっちは）

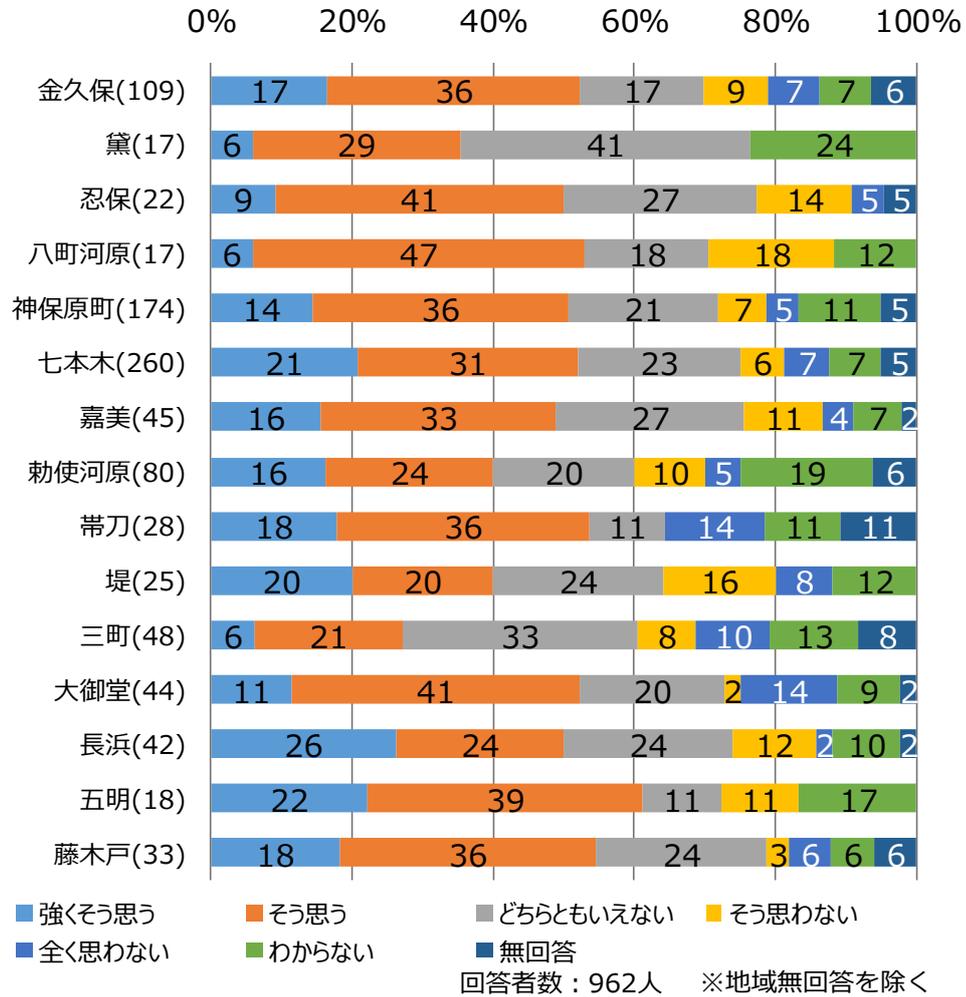


図16 日常生活に不可欠かどうか（3）

・ タクシーは、半数前後の方が不可欠と考えている。

地域別（タクシー）

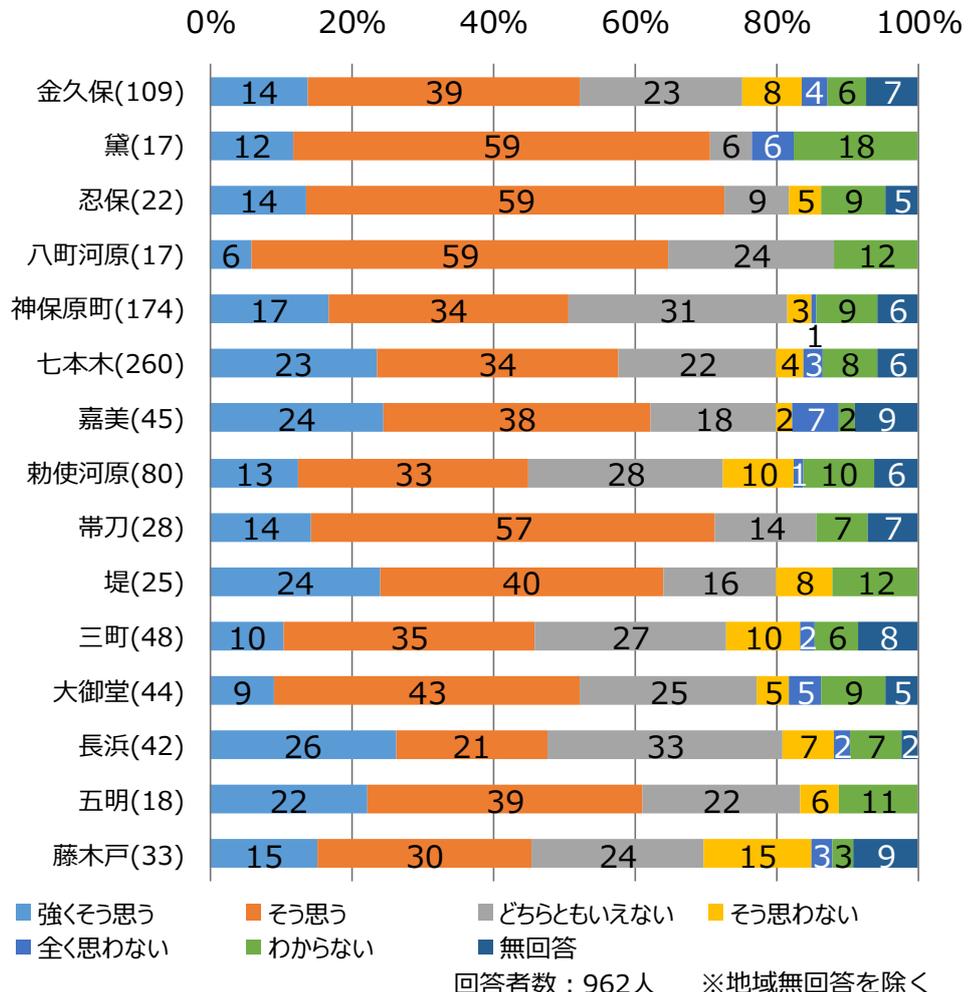
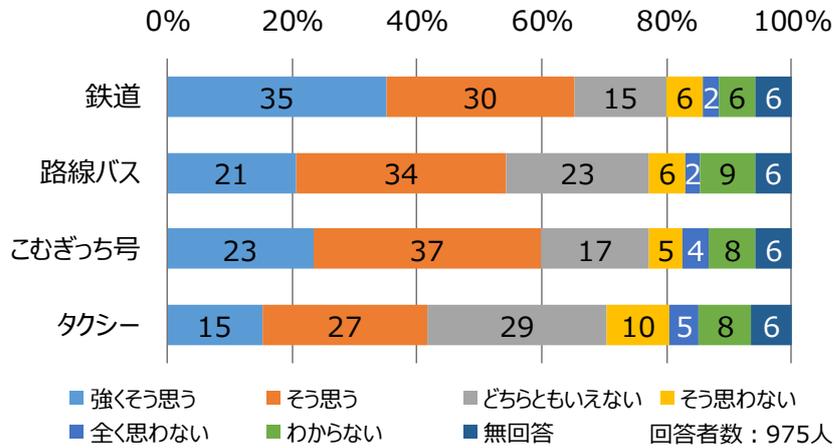


図17 日常生活に不可欠かどうか（4）

②公共交通は、行政、交通事業者、町民みんなで運営を支えていかなければならない。

- ・ 鉄道、路線バス、こむぎっち号に対して、半数以上の方が、皆で支える必要性を感じている。
- ・ 鉄道は、地域によらず同様の傾向となっている。

単純集計



地域別（鉄道）

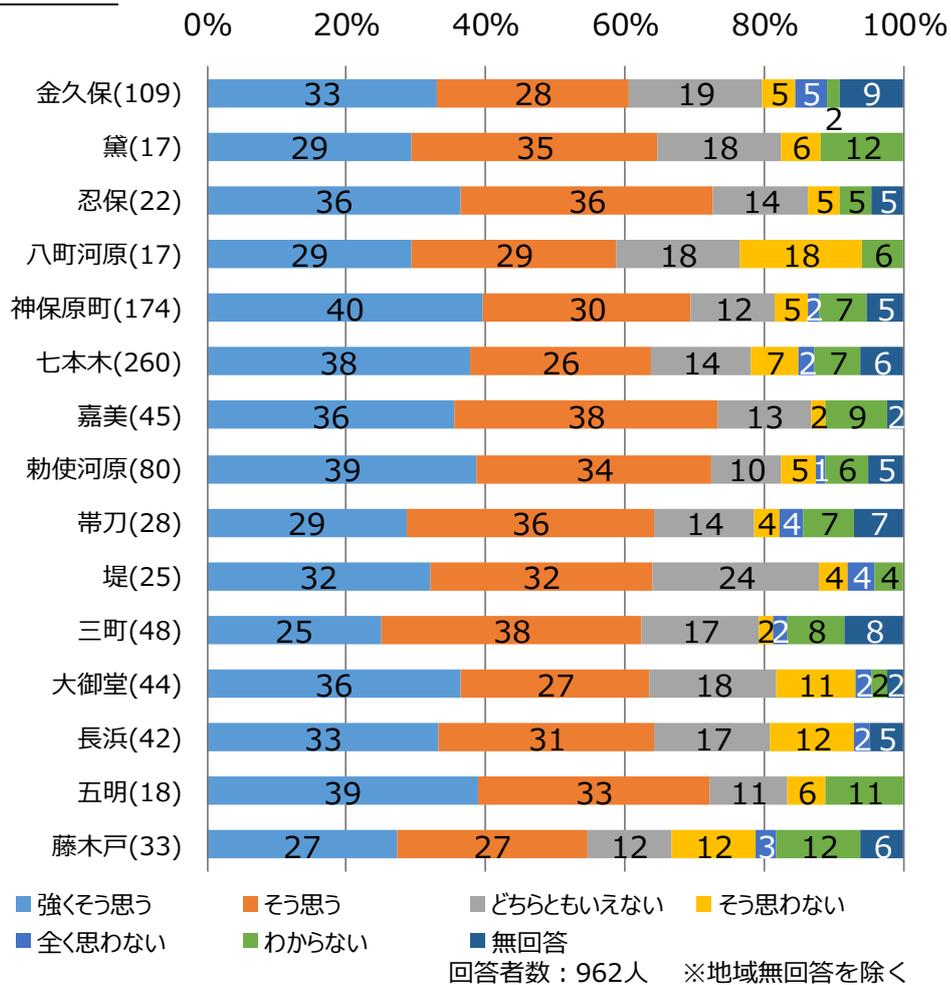


図18 皆で支える必要性(1)

- ・ 路線バスは、経路から離れた金久保、黛、忍保、八町河原において、皆で支える必要性を感じる方がやや少ないものの、他の地域では、約6割の方が必要性を感じている。

地域別（路線バス）

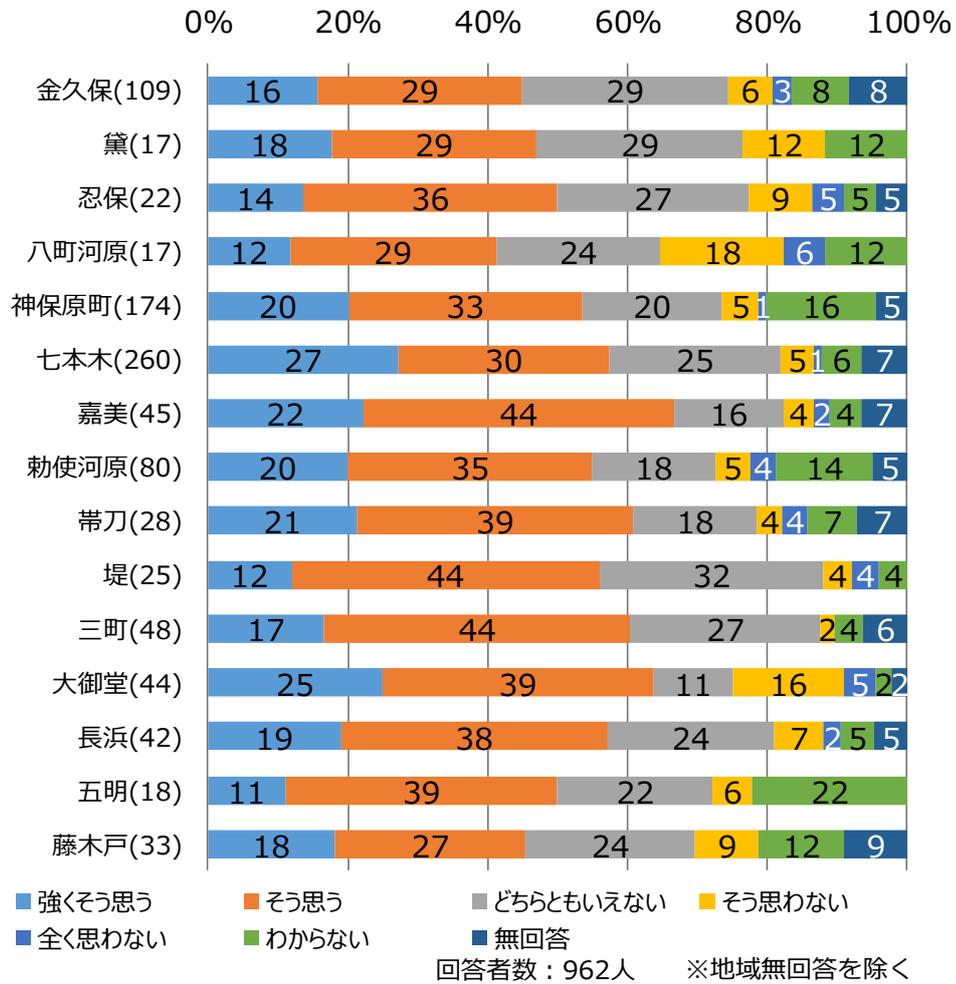


図19 皆で支える必要性(2)

・ こむぎっち号は、多くの地域で約6割の方が必要性を感じている。

地域別（こむぎっち号）

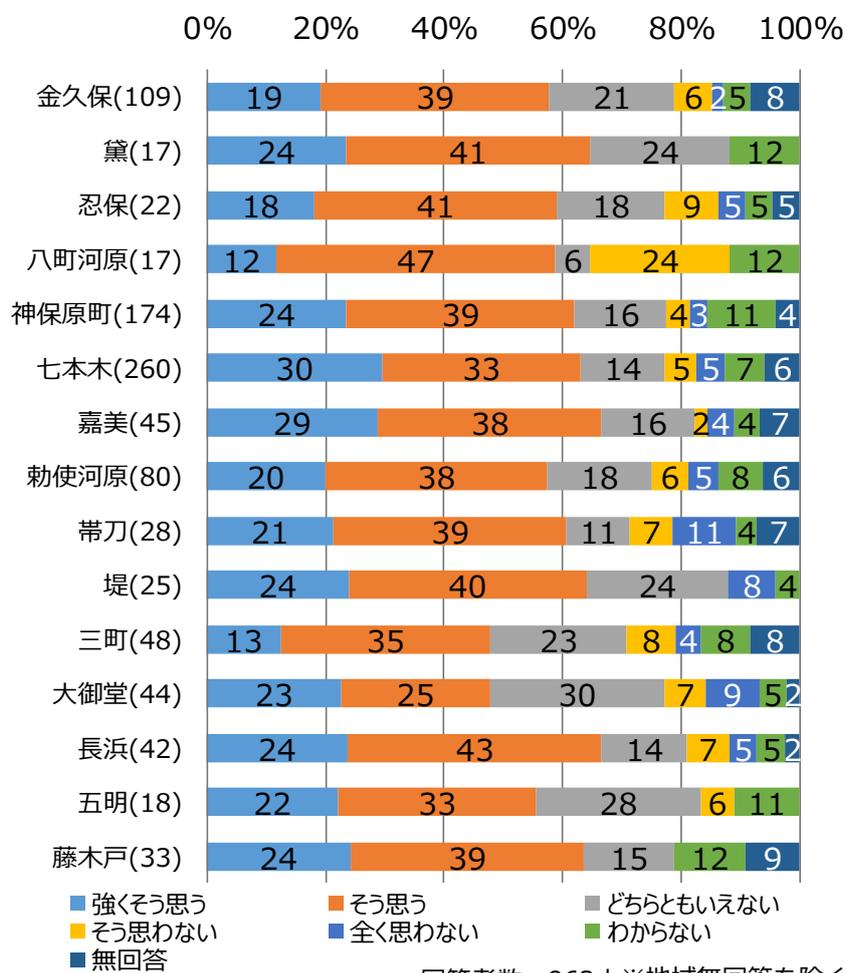


図20 皆で支える必要性(3)

・ タクシーは、多くの地域で約4割の方が必要性を感じている。

地域別（タクシー）

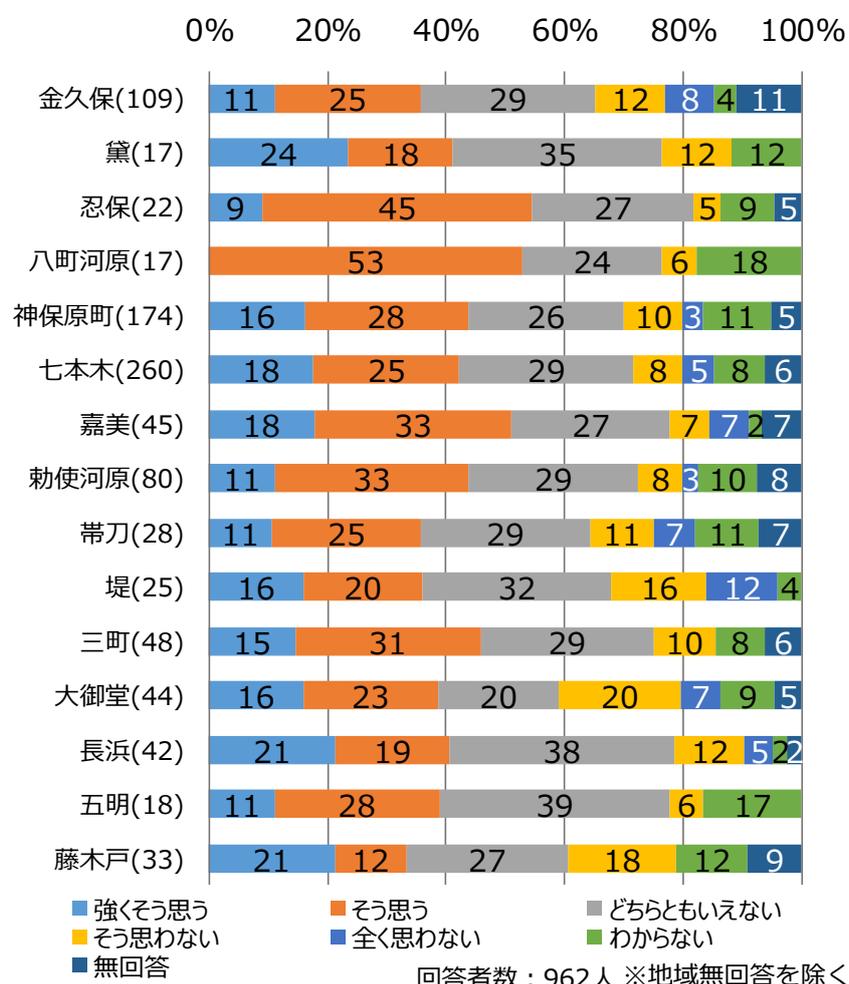
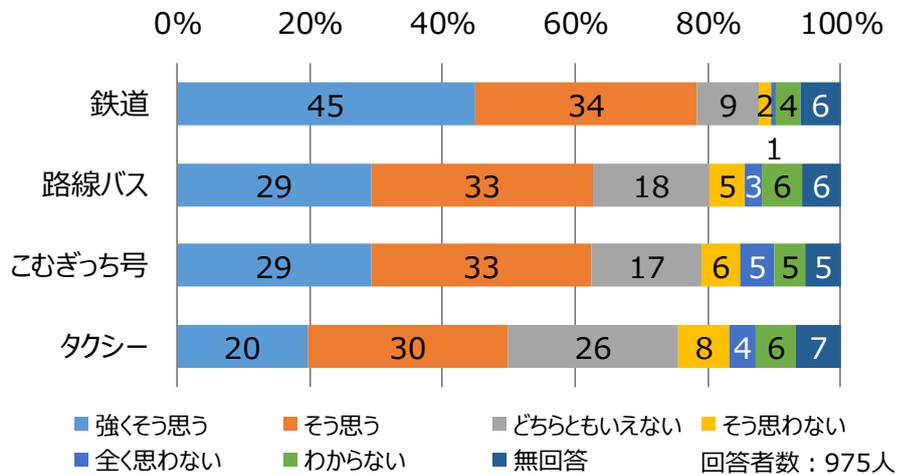


図21 皆で支える必要性(4)

③公共交通がより便利になれば、利用したいと思う。

- ・ どの交通機関も、半数以上の方が「便利になれば利用したい」と考えている。
- ・ 特に鉄道は、8割以上の方が便利になれば利用したいと考えている。

単純集計



地域別（鉄道）

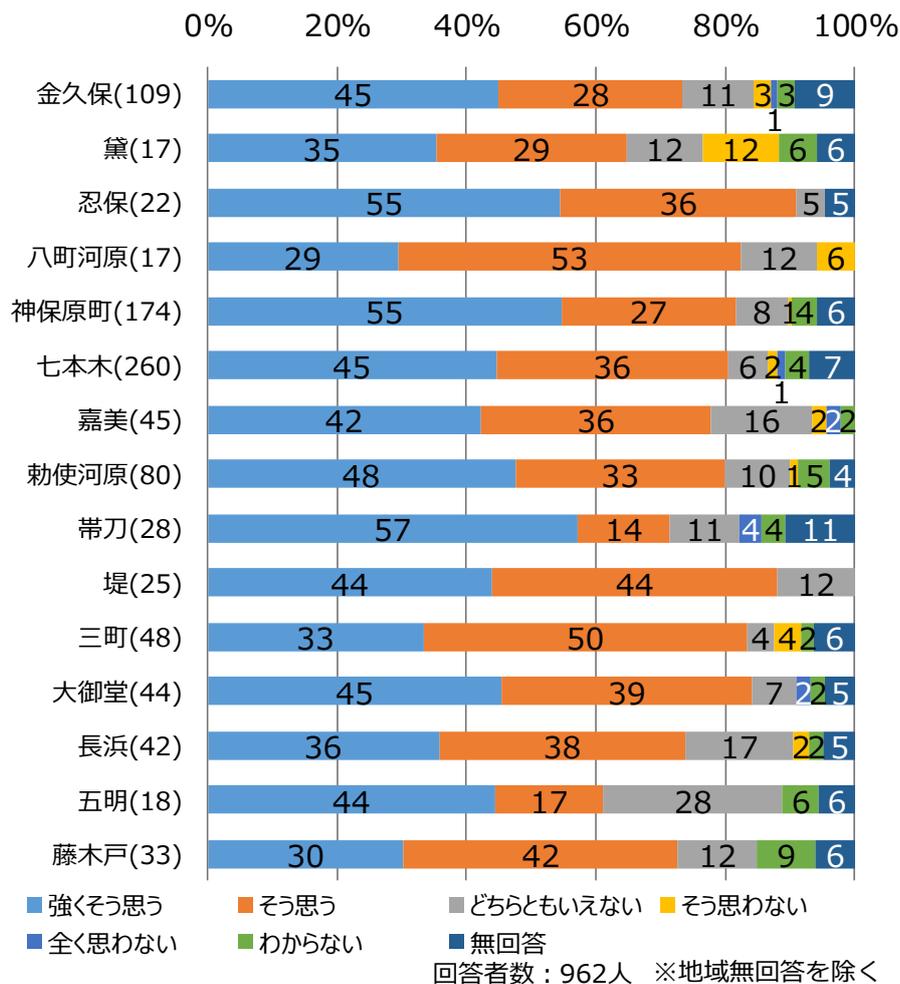


図22 公共交通がより便利になれば利用するか(1)

・ 路線バスは、6割の方が便利になれば利用したいと考えている。

地域別（路線バス）

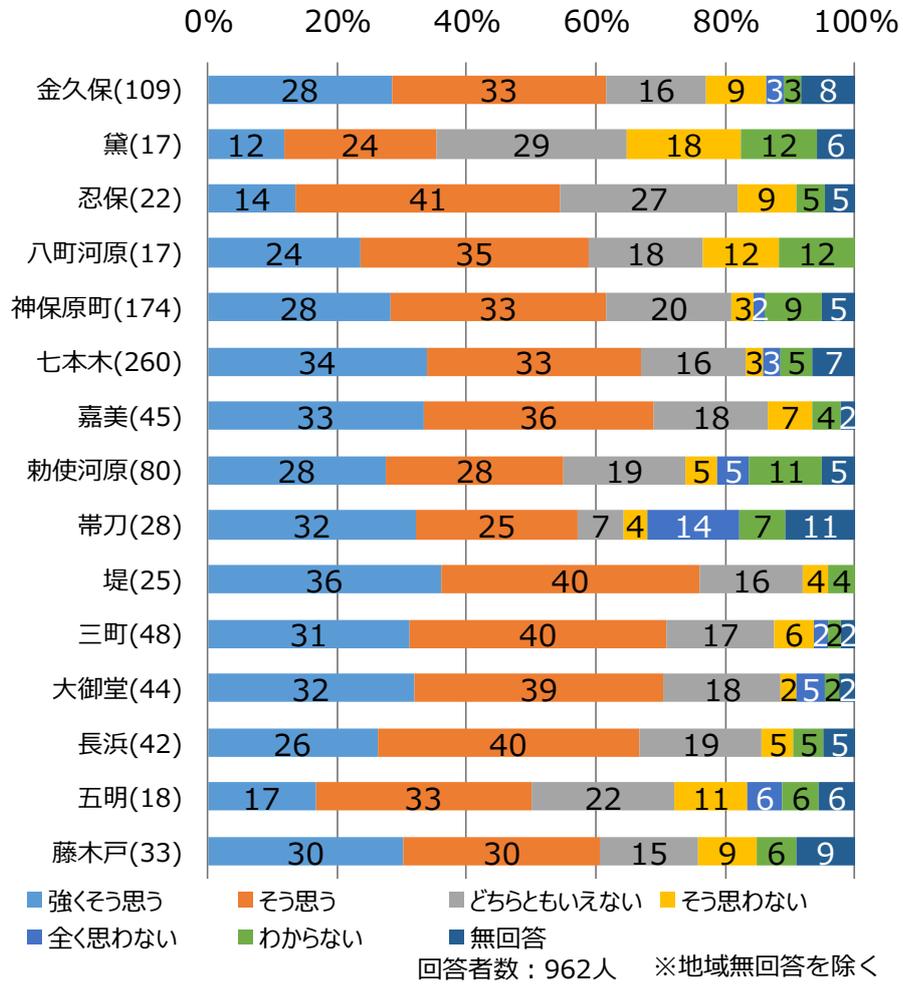


図23 公共交通がより便利になれば利用するか(2)

・こむぎっち号は、6割の方が便利になれば利用したいと考えている。

地域別（こむぎっち号）

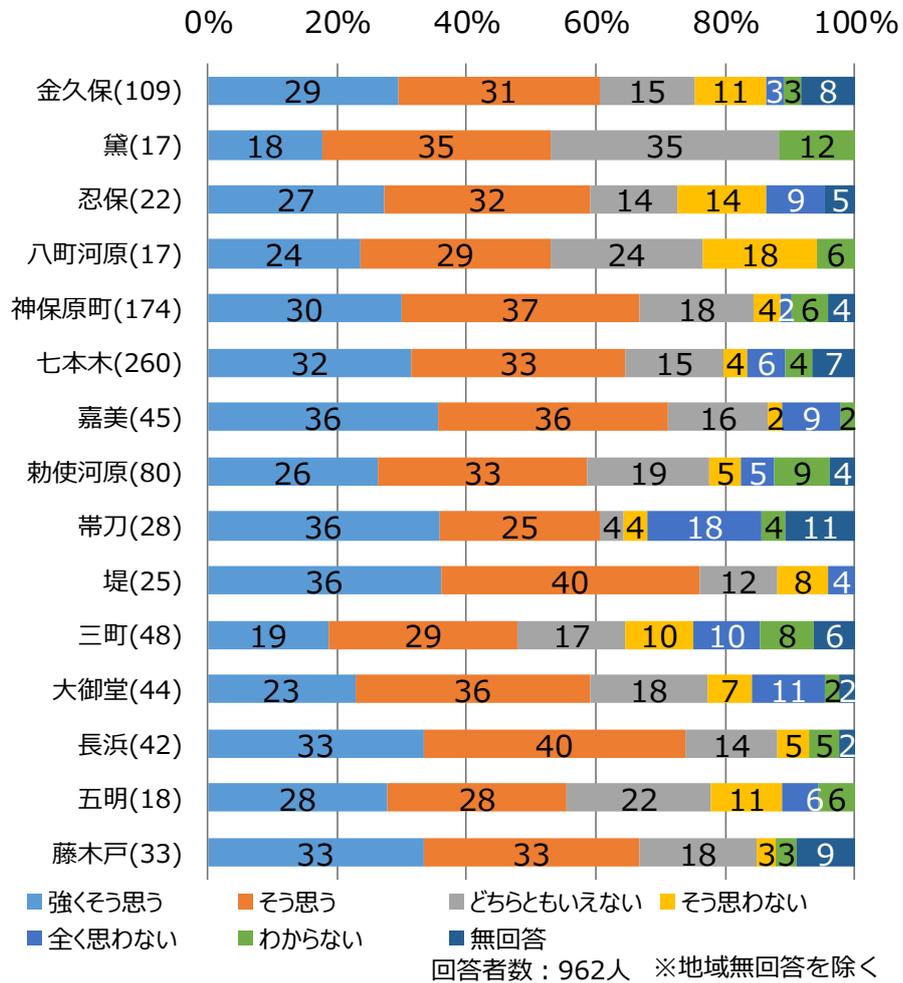


図24 公共交通がより便利になれば利用するか(3)

・ タクシーは、半数前後の方が便利になれば利用したいと考えている。

地域別（タクシー）

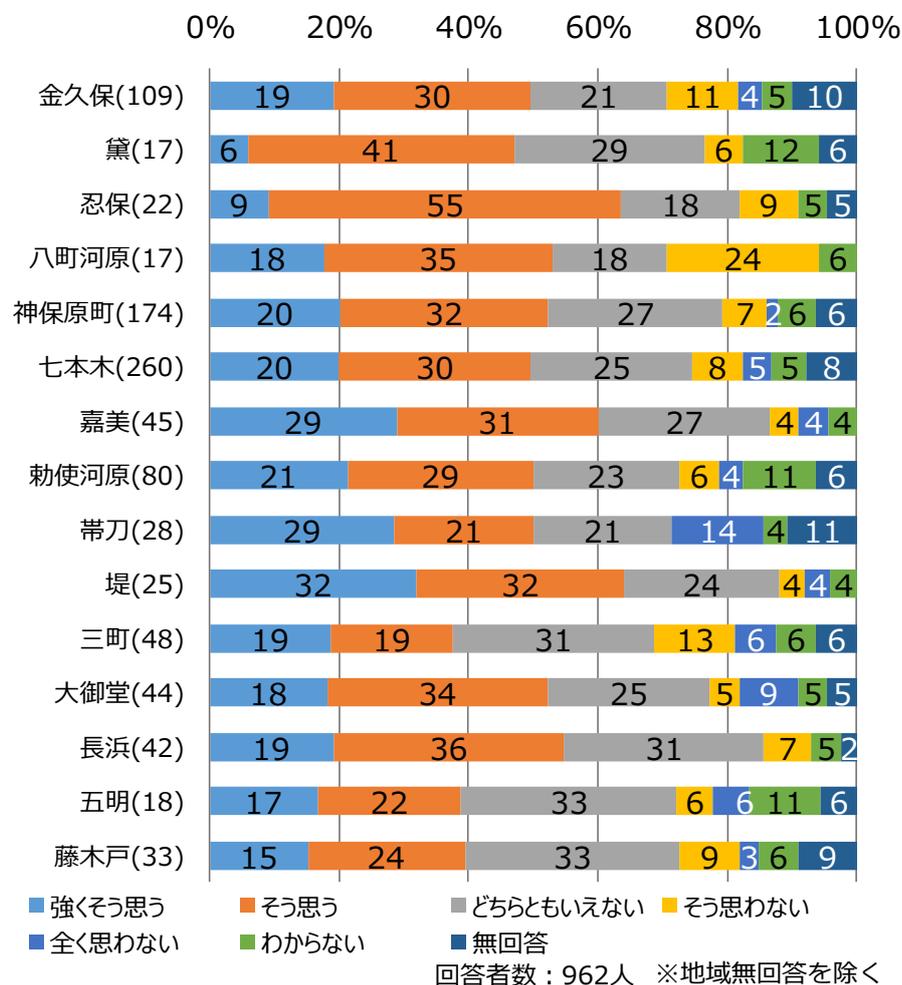


図25 公共交通がより便利になれば利用するか(4)

■設問4：あなたが普段外出する際の目的ごとの目的地、頻度、移動手段についておうかがいします。外出頻度が高い目的3つ以内でお答えください。

①目的

- ・ 最も多い外出は「通勤・通学（62%）」で、次いで「買い物（26%）」となっている。
- ・ 2番目、3番目に多い外出としては、「趣味・遊び・食事・知人訪問」や「通院」が多くなる。

単純集計

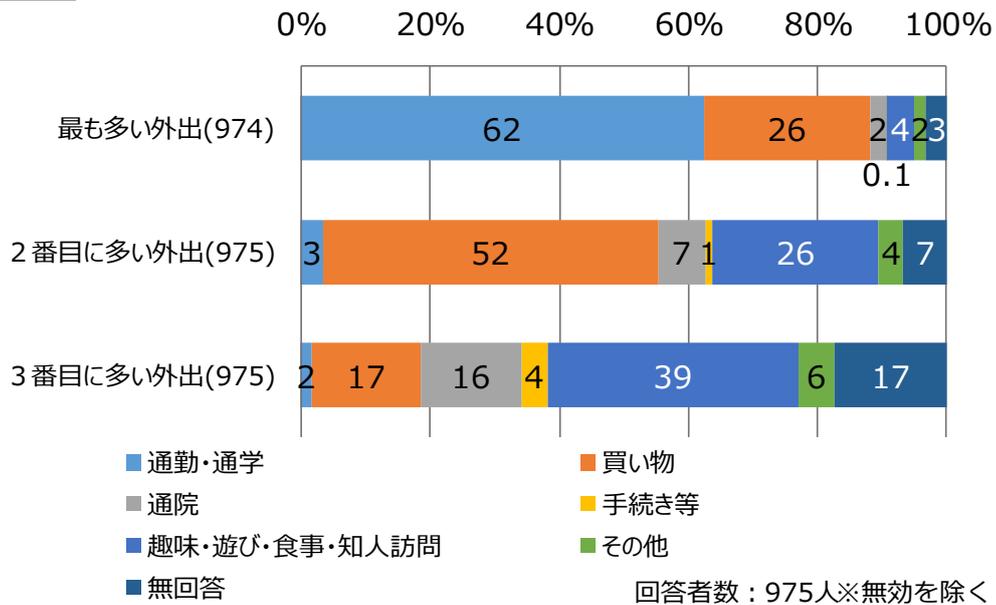


図26 移動の目的(1)

表6 その他の主な目的

No	内容
1	アルバイト
2	お見舞
3	散歩
4	子どもの送迎
5	通塾
6	送迎

- ・ 最も多い外出を年齢別に見ると、年齢が上がるにつれて「通勤・通学」の割合が減り、「買い物」が増える。

年齢別（最も多い外出）

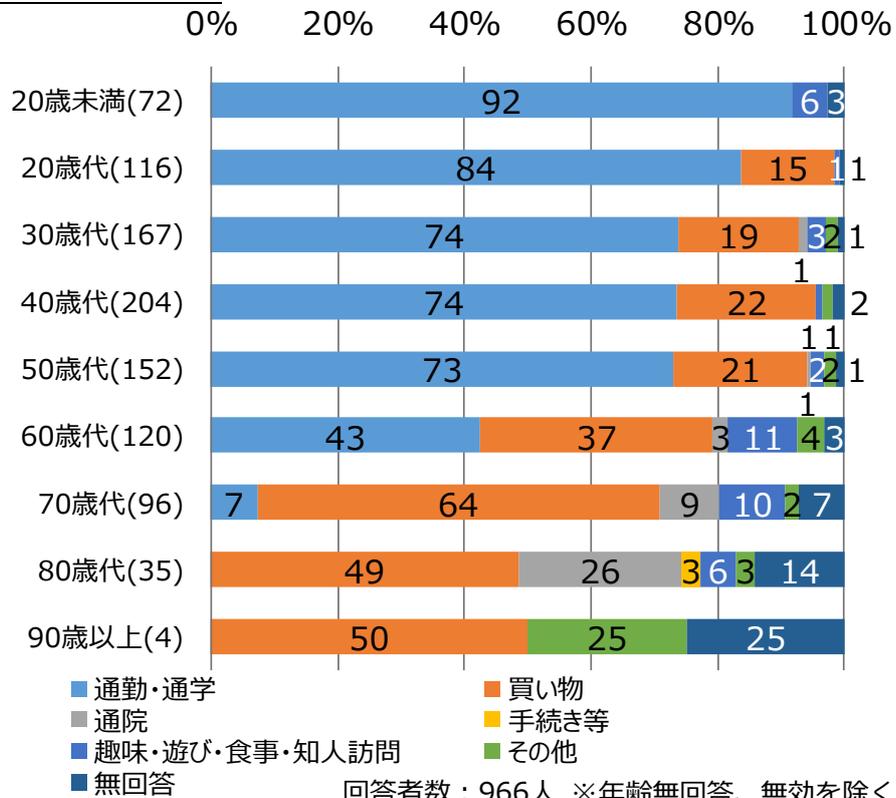
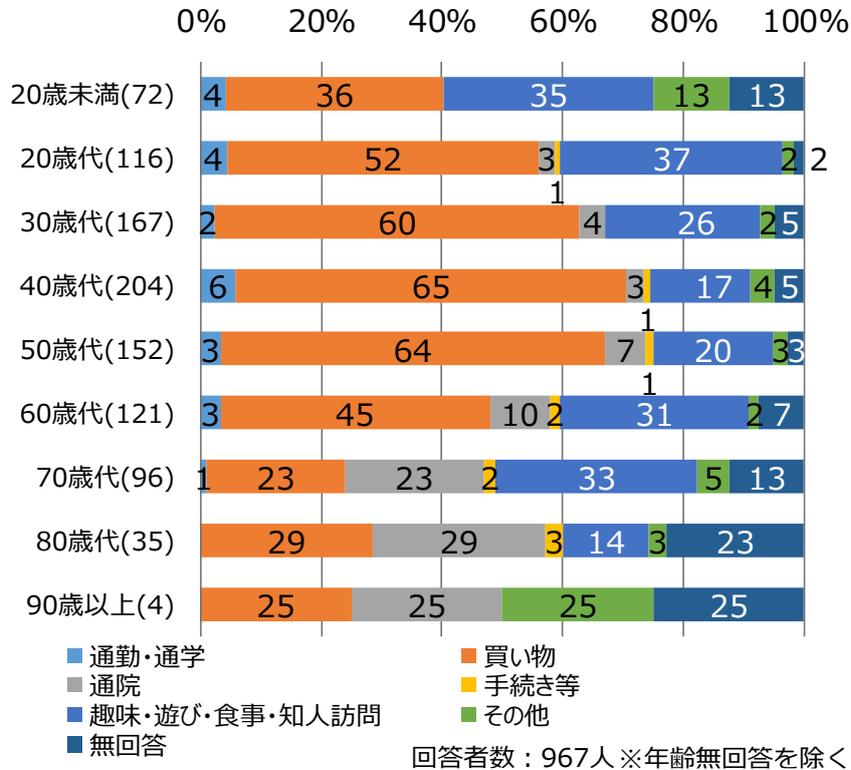


図27 移動の目的(2)

- ・ 2番目、3番目に多い外出は、「買い物」や「趣味・遊び・食事・知人訪問」が多く、年齢が上がるにつれて、「通院」が増加する。

年齢別（2番目に多い外出）



年齢別（3番目に多い外出）

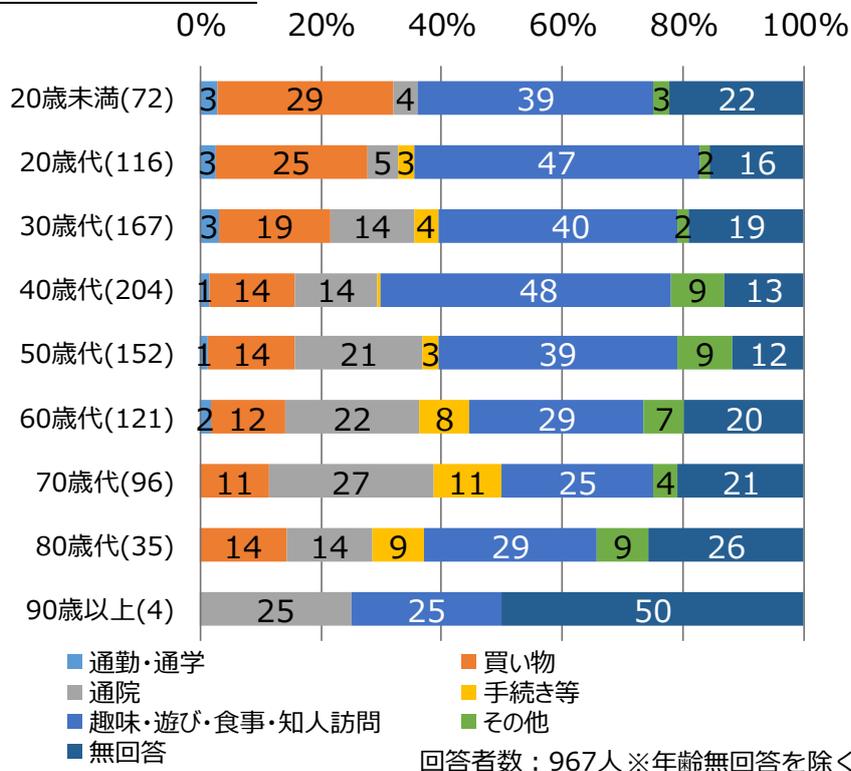
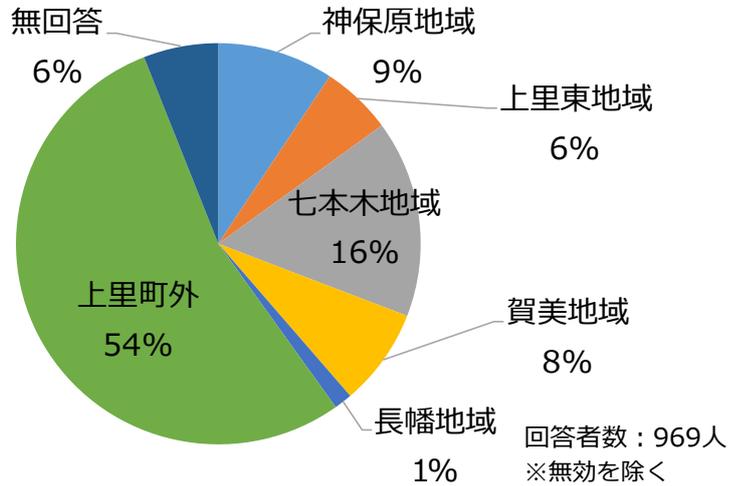


図28 移動の目的(3)

②目的地

- ・ 最も多い外出は、町外への移動が半数以上を占め、本庄市、高崎市、深谷市の順に多い。
- ・ 町内では「七本木地域（16%）」が多い。

目的地（最も多い外出）



町外の目的地上位5地域（最も多い外出）

	地域名	票数
1	本庄市	175
2	高崎市	45
3	深谷市	30
4	藤岡市	27
5	熊谷市	26

町外への移動のうち、鉄道利用（最も多い外出）

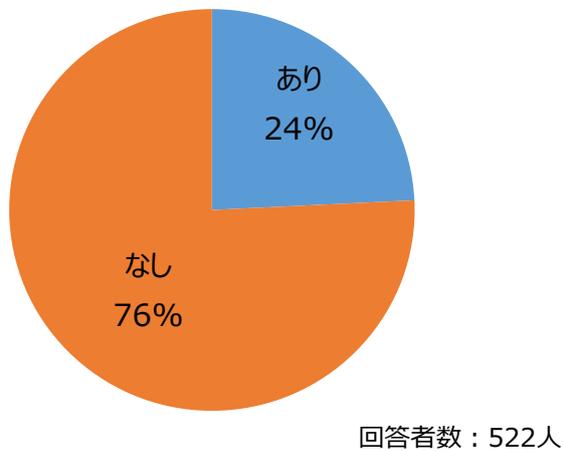
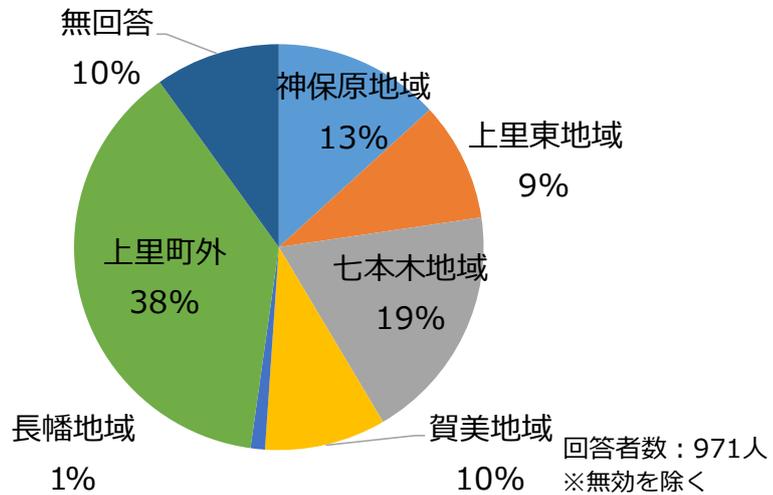


図29 移動の目的地(1)

- ・ 2番目に多い外出は、最も多い外出と比べ、町外への移動が減り、半数は町内移動となっている。

目的地（2番目に多い外出）



町外の目的地上位5地域（2番目に多い外出）

	地域名	票数
1	本庄市	140
2	高崎市	35
3	藤岡市	28
4	伊勢崎市	21
4	東京都	21

町外への移動のうち、鉄道利用（2番目に多い外出）

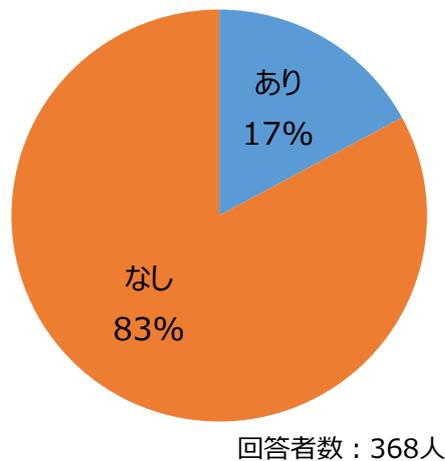
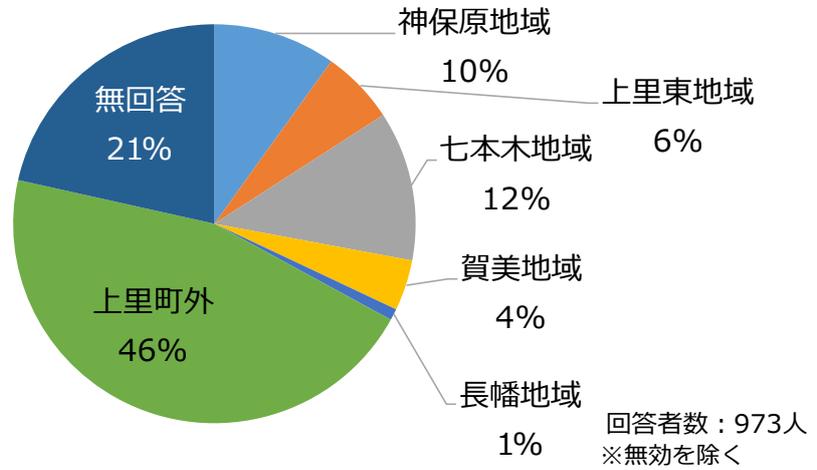


図30 移動の目的地(2)

- ・ 3番目に多い外出は、2番目に多い外出と似た傾向となる。

目的地（3番目に多い外出）



町外の目的地上位5地域（3番目に多い外出）

	地域名	票数
1	本庄市	143
2	高崎市	55
3	藤岡市	33
4	伊勢崎市	23
5	群馬県（全体）	20

町外への移動のうち、鉄道利用（3番目に多い外出）

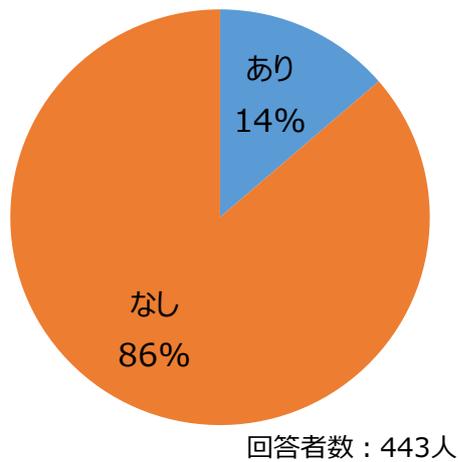
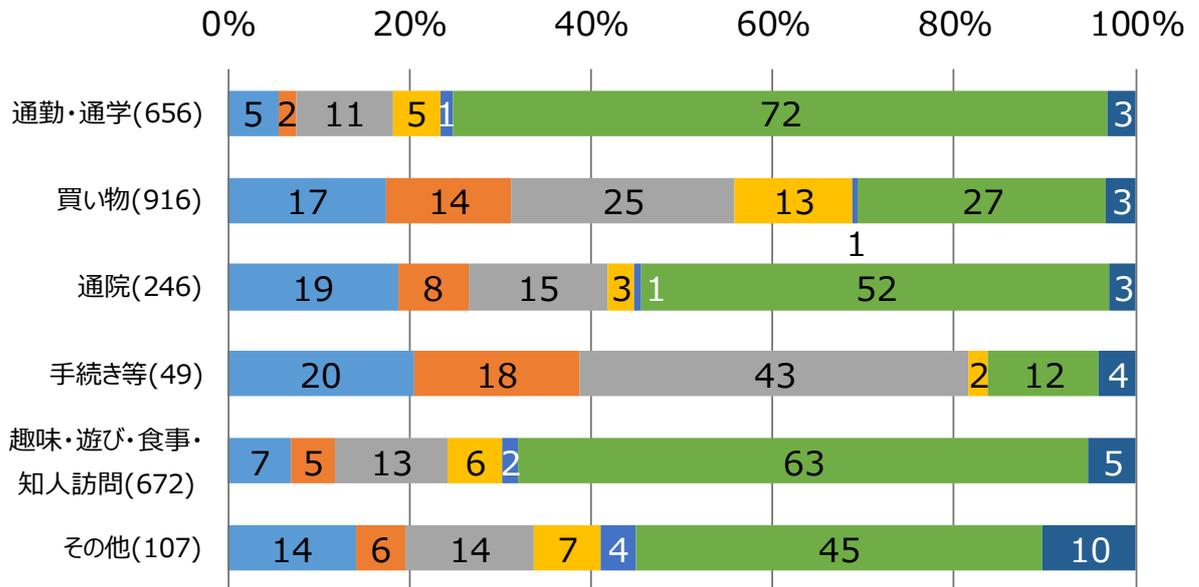


図31 移動の目的地(3)

- ・ 通勤・通学や趣味・遊び等を行う方は、6割以上が町外に外出し、通院する方は、半数が町外に通院している。買い物は町内で行うことが多い。
- ・ 町外の目的地は、あらゆる目的で本庄市が最も多い。

目的地（目的別）



■ 神保原地域 ■ 上里東地域 ■ 七本木地域 ■ 賀美地域 ■ 長幡地域 ■ 上里町外 ■ 無回答

回答者数：943人 ※目的無回答、無効を除く

目的地（目的別・町外）

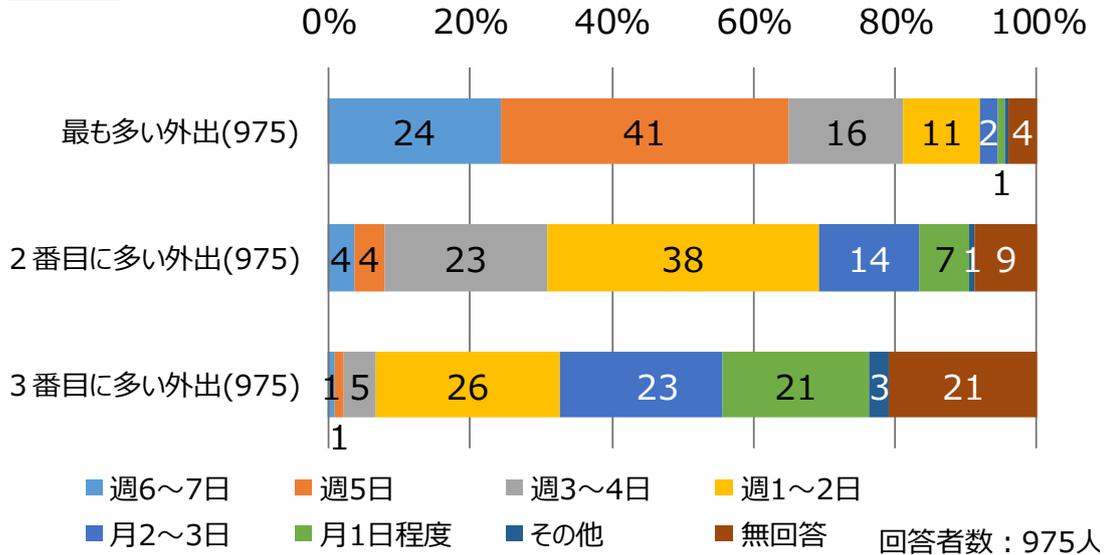
	通勤・通学		買い物		通院		手続き		趣味・遊び等	
	地域名	票数	地域名	票数	地域名	票数	地域名	票数	地域名	票数
1	本庄市	150	本庄市	108	本庄市	46	本庄市	5	本庄市	118
2	高崎市	43	高崎市	35	藤岡市	27	熊谷市	1	高崎市	47
3	深谷市	28	藤岡市	18	高崎市	8	-	-	東京都	30
4	熊谷市	26	伊勢崎市	14	伊勢崎市	7	-	-	伊勢崎市	25
5	伊勢崎市	23	東京都	7	前橋市、 深谷市	6	-	-	群馬県 (全体)	21

図32 移動の目的地(4)

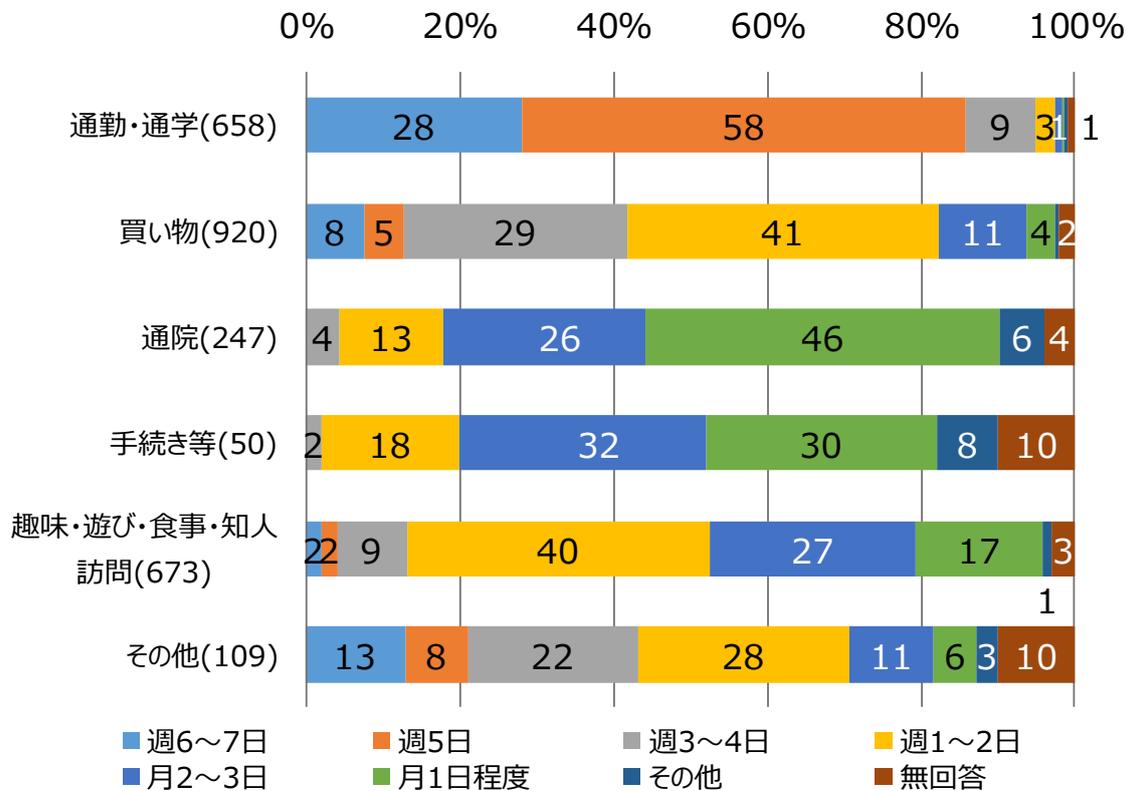
### ③外出頻度

- ・ 8割以上の方が、通勤・通学で週5日以上外出している。
- ・ 買い物は8割の方が週1回以上外出している。
- ・ 趣味等による外出は、5割の方が週1回以上行っている。

#### 単純集計



#### 目的別



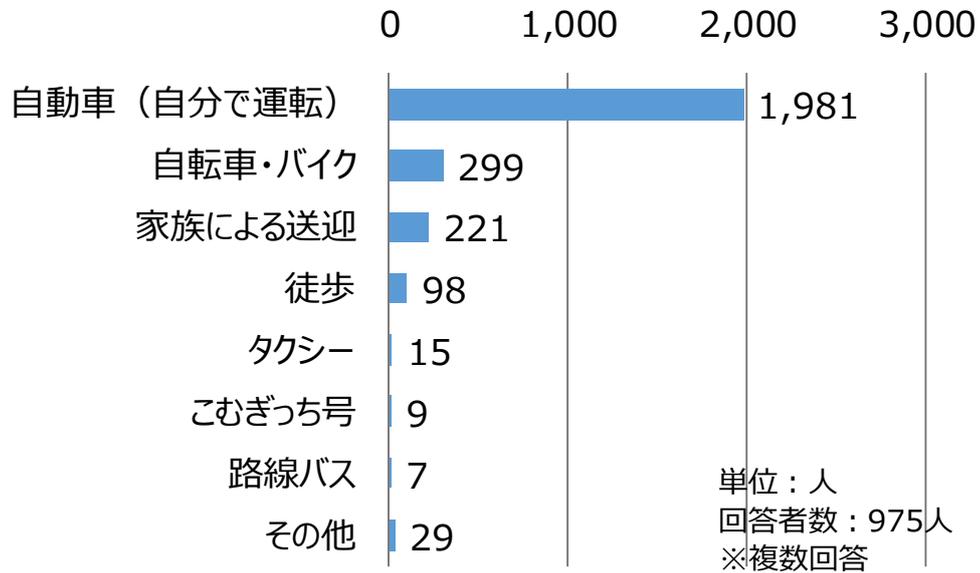
回答者数：944人 ※目的無回答を除く

図33 移動の頻度

④交通手段

- ・ 自分で運転する方が圧倒的に多く、自動車への依存度が高い。

単純集計



※「最も多い外出」「2番目に多い外出」「3番目に多い外出」のそれぞれの交通手段を複数回答。

図34 交通手段(1)

表7 その他の主な交通手段

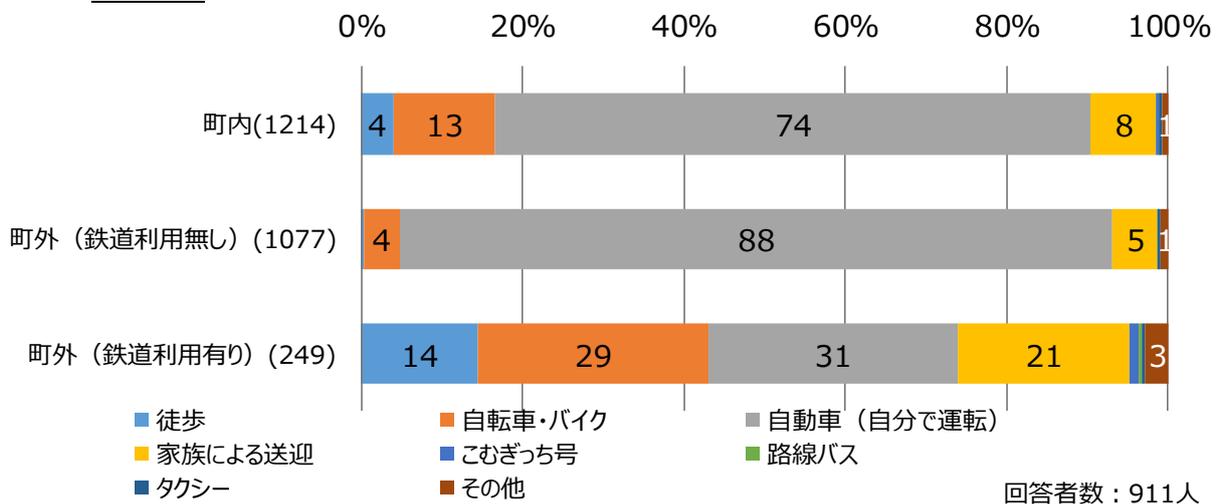
No	内容
1	スクールバス
2	デイサービスの送迎車
3	親戚、知人

・ 目的別に見ても、自動車依存の傾向は変わらず、あらゆる場面で使われている。

目的別

	通勤・通学		買い物		通院		手続き		趣味・遊び等	
	交通手段	票数	交通手段	票数	交通手段	票数	交通手段	票数	交通手段	票数
1	自動車	491	自動車	723	自動車	161	自動車	36	自動車	484
2	自転車・バイク	99	自転車・バイク	86	送迎	42	送迎	6	自転車・バイク	80
3	送迎	39	送迎	73	自転車・バイク	21	自転車・バイク	4	送迎	50

目的地別



	徒歩	自転車・バイク	自動車(自分で運転)	家族による送迎	こむぎっち号	路線バス	タクシー	その他	総計
町内	4.0	12.7	73.7	8.2	0.3	0.1	0.3	0.7	100
町外(鉄道利用無し)	0.3	4.5	88.4	5.5	0.0	0.1	0.5	0.8	100
町外(鉄道利用有り)	14.5	28.5	30.9	21.3	1.2	0.4	0.4	2.8	100

単位：%

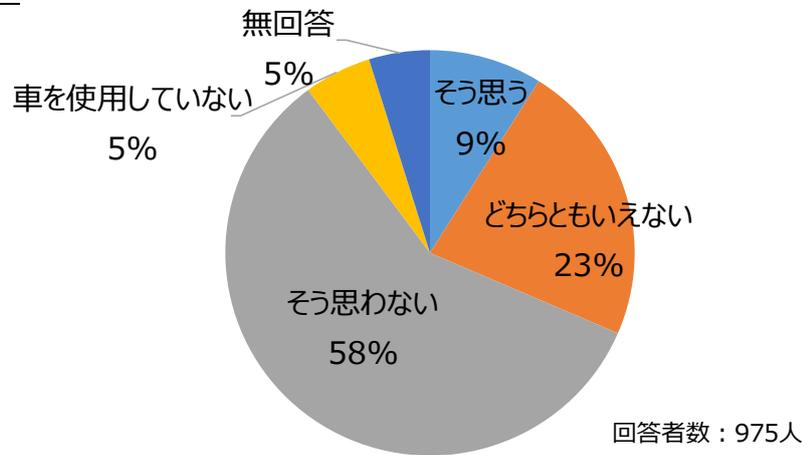
※ 「最も多い外出」「2番目に多い外出」「3番目に多い外出」のそれぞれの交通手段を複数回答。

図35 交通手段(2)

■設問 5 - 1 : 上里町は、自家用車による移動手段が中心となっています。あなたは自家用車による移動から公共交通を利用した移動に変更したいと思いますか。

・ 約 6 割の方が公共交通利用への変更意向が無いが、高齢者ほど変更意向は高くなる。

単純集計



年齢別

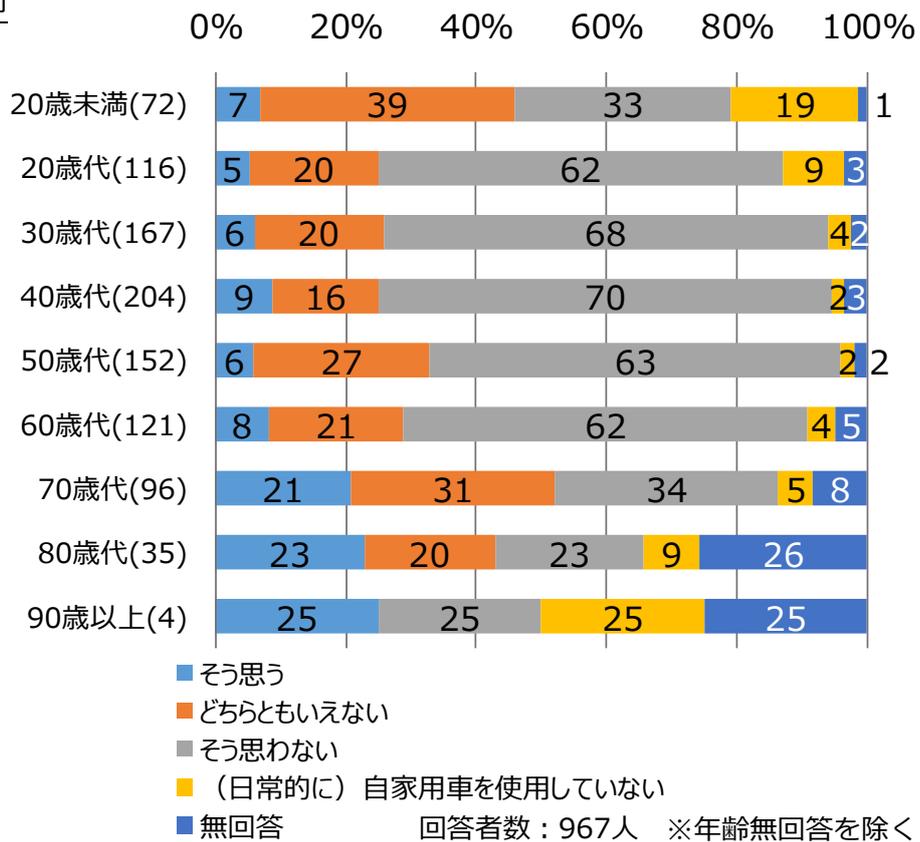


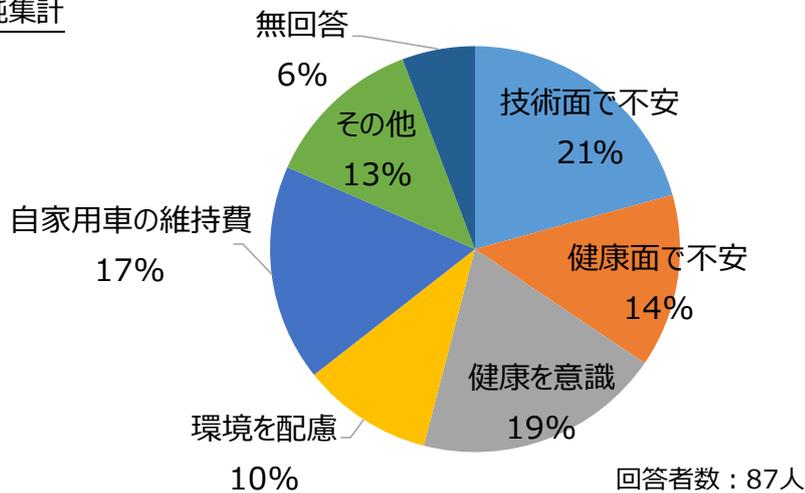
図36 公共交通利用への変更意向

■設問 5 - 2 : 自家用車から公共交通利用へ変更したい理由を教えてください。

※公共交通利用に変更したい方へ質問

- ・ 様々な理由が挙げられている。
- ・ 運転技術の不安は、約 2 割の方が感じており、年齢が上がるほどその傾向が高くなる。

単純集計



年齢別

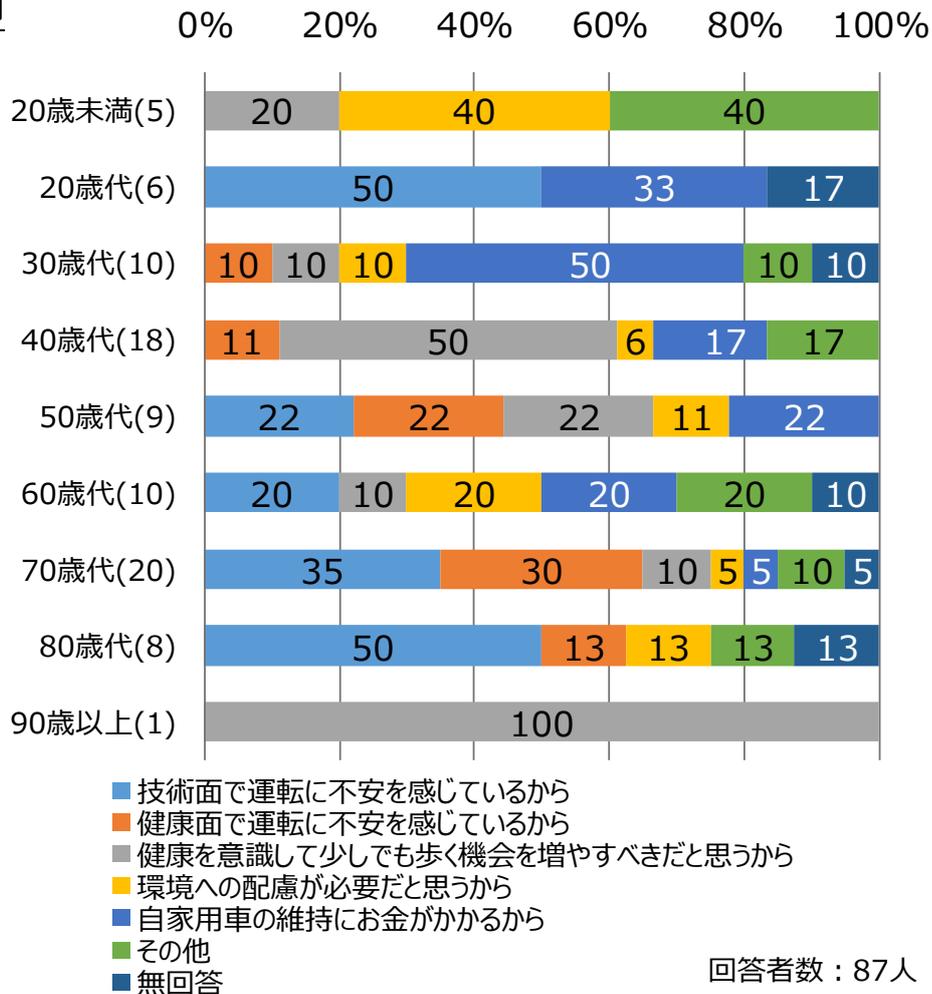


図37 公共交通利用への変更理由

表8 その他の主な理由

No	内容
1	交通事故が怖い。
2	車の運転より公共の交通の方が楽だから。
3	定年後は早めに運転免許証を返納したいから。
4	親の負担を減らしたい。
5	一人で行動できるようになりたいから。

■設問5-3：自家用車から公共交通利用へ変更したくない理由を教えてください。

※公共交通利用に変更したくない方へ質問

- ・自家用車での移動が便利なることを理由に挙げる方が、約8割を占める。

単純集計

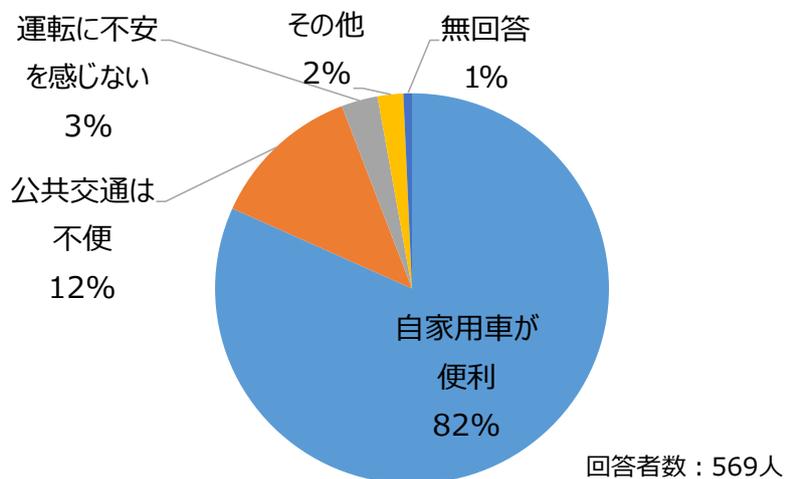


図38 公共交通利用へ変更したくない理由

表9 その他の主な理由

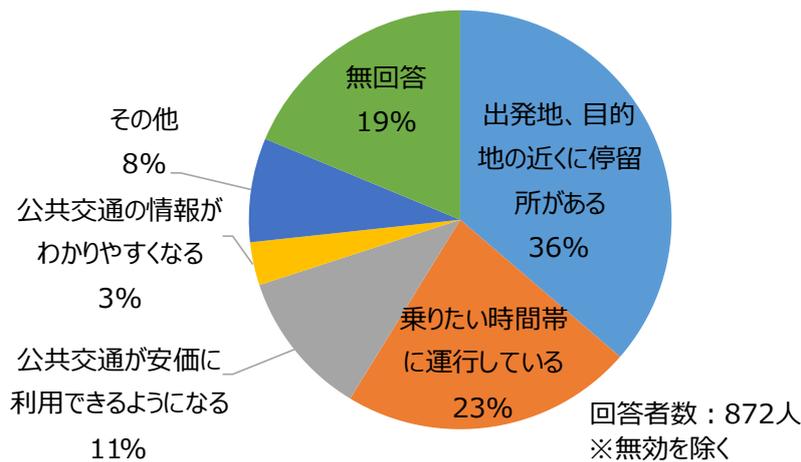
No	内容
1	まだまだ通勤に必要な為。
2	みんなが使うと混むから。
3	自動車ではないと通勤不可。
4	自由な時間に使えない。

■設問5-4：あなたはどのような条件が整えば、自家用車から公共交通を利用した移動に変更したいと思いますか。

※公共交通利用に変更したくない方へ質問

・年齢を問わず、乗車場所と運行時間帯が移動需要に合っていることを、条件に挙げている方が多い。

単純集計



年齢別

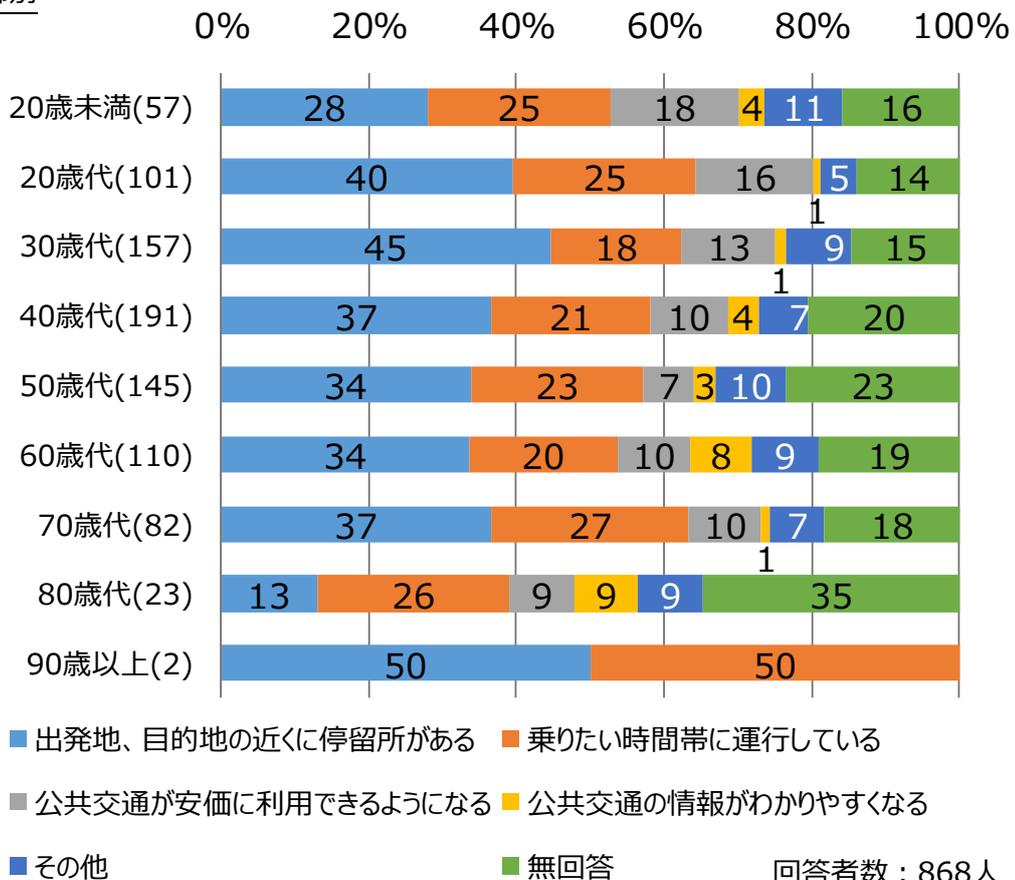


図39 公共交通利用へ変更したくなる条件

表10 その他の主な条件

No	内容
1	自家用車があるので、全く考えない。
2	駅に駐車できる所があればと思う。
3	自宅の近くに停留所があれば。
4	車の維持ができなくなったら。
5	もっと多くの場所に移動できるようになる。
6	身障者の送迎がいつでもできる。
7	ドアtoドア
8	スマホで全て完結できるサービス。
9	運転できなくなったら。
10	わからない

■設問6：あなたが公共交通サービスにおいて、重要だと思うことを教えてください。

- ・乗車場所や運行時間帯が重要視されている。

単純集計

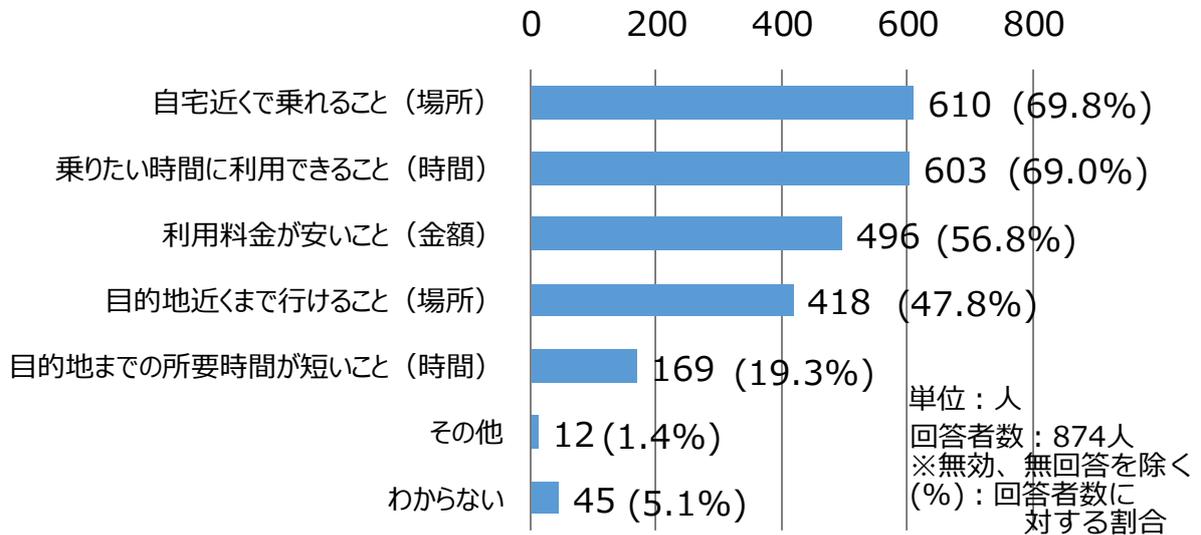


図40 公共交通サービスにおいて重要だと思うこと

表11 その他の主な条件

No	内容
1	1時間に最低3本位走っている。
2	どこを通っているのか分かりやすいこと。
3	安全性・信頼性
4	乗り継ぎが良くなる。

■設問7：どのような目的の時に利用しやすい公共交通になれば、より便利になると思いますか。

- ・ 商業施設（24%）や神保原駅（27%）、医療施設（19%）を利用するときに、公共交通の利便性向上が求められている。

単純集計

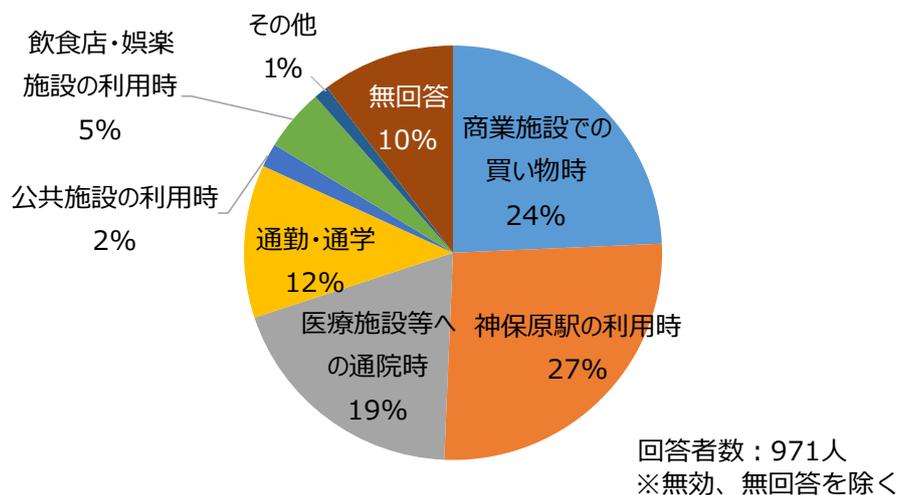


図41 どのような目的のときに利用しやすい公共交通になれば、より便利になるか

表12 その他の主な条件

No	内容
1	年齢によって利用をしたい事が違うと思うので、どんな人でも利用できるようにしてほしい。
2	都内へ行く時。
3	わからない

■上里町の公共交通に関するご意見・ご要望等があれば教えてください。

- ・ 運行経路や停留所位置に関する意見が多い。タクシー運賃補助や乗合タクシー等、代替する交通手段に関する意見もある。
- ・ 神保原駅付近の駐車場整備要望等、拠点整備に関する意見も見られる。

カテゴリ別集計

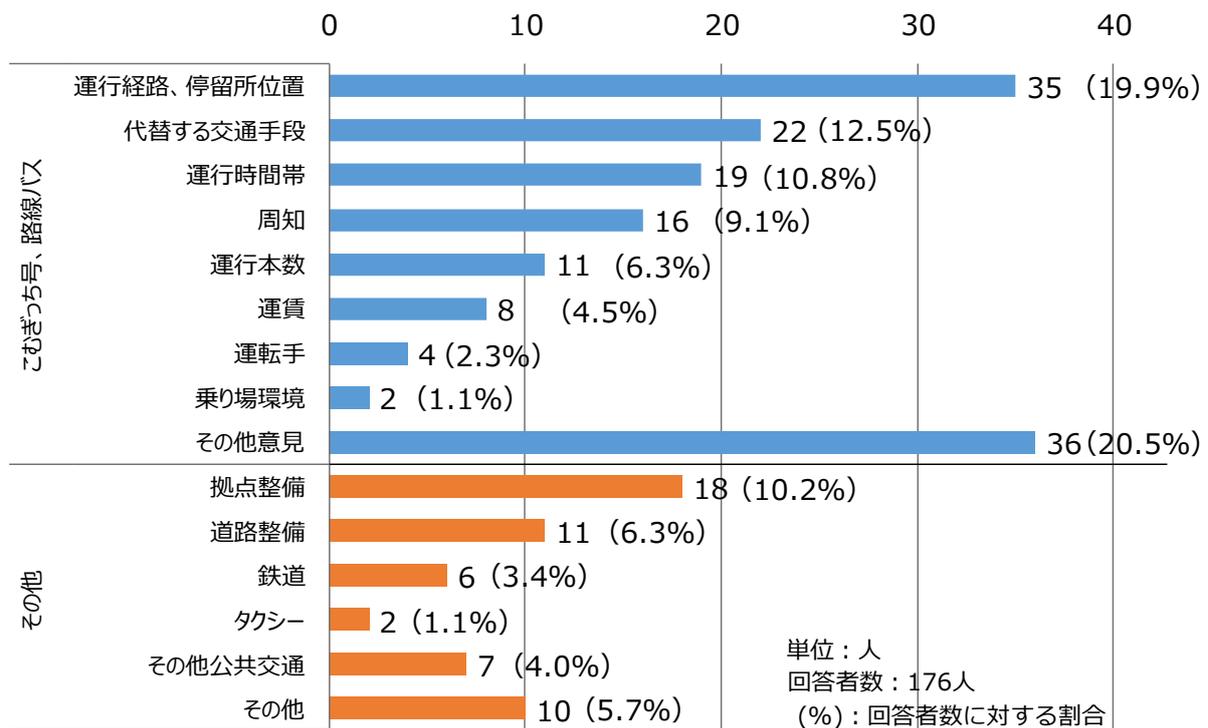


図42 上里町の公共交通に関するご意見・ご要望

# 上里町地域公共交通網形成計画

令和2年3月

発 行：上里町

編 集：上里町総合政策課

〒369-0392 埼玉県児玉郡上里町大字七本木5518

TEL：0495-35-1221（代） FAX：0495-33-2429（代）



